SPEEDIA

CP-B100

取　扱　説　明　書

プリンタを設置・操作する前によくお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

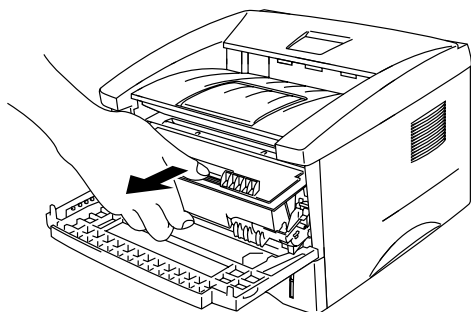
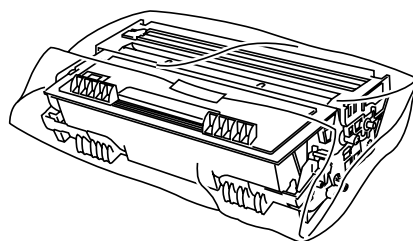
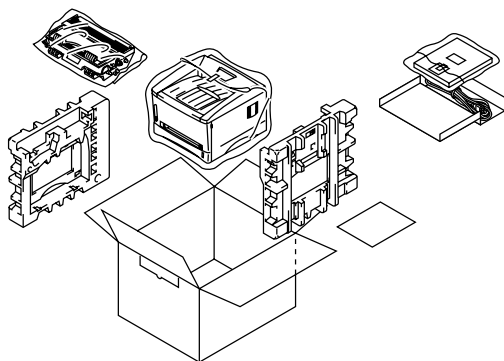
CASIO®

T-561PA
MO0201-A

プリンタの輸送について

輸送中の損傷を避けるために、輸送の際にはプリンタを正しく梱包してください。お買い上げ時に使われていた梱包材を保管してお使い頂くことをおすすめします。また、輸送に際しては十分な保険をおかけください。

プリンタの輸送に際し、トナーカートリッジ付きのドラムユニットは、プリンタから取り出してビニール袋にお入れください。**プリンタに入れたまま輸送した場合、プリンタが破損する恐れがあり、保証の対象になりません。**

1　ドラムユニットを取り出します。

2　ビニール袋にドラムユニットを入れて、しっかりと封をします。

3　電源コードをプリンタから外し、プリンタを梱包します。

SPEEDIA CP-B100 取扱説明書

お　願　い

同封の「保証書請求用ハガキ」に必要事項をご記入の上、投函してください。着信しだいお客様の登録をし、保証書を送付させていただきます。
詳しくは、付録A-9ページ「保証について」をご覧の上、ご協力をお願いします。

ご　注　意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
(2) 本書の内容は製品の仕様変更・改良等により将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタドライバの「ヘルプ」もしくはテキストファイル「README.TXT」に記載されることがあります。その他最新の製品情報やプリンタドライバのダウンロードサービスをインターネットやパソコン通信でご提供しております。詳しくはA-10ページをご参照ください。
(4) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響につきましては、(4) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社指定のもの以外の第三者による修理・改造及び、当社純正品以外のオプションまたは消耗品を使用したこと等に起因して生じた障害及び、トラブル等につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
(7)「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は米国Microsoft corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。
(8) その他の社名、商品名およびソフトウェア名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

安全に正しくお使いいただくために

本書では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような安全表示をおこなっています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また本書では、その他の注意事項を次のような表示でおこなっています。
製品のお取り扱いの際にご参照ください。

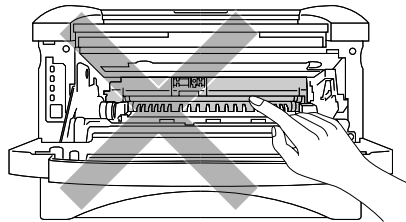
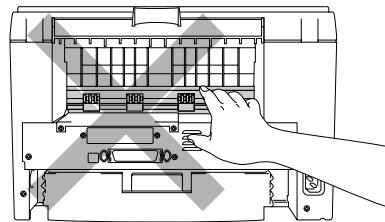
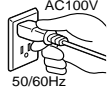
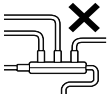
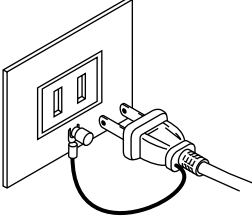
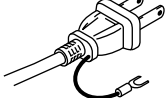
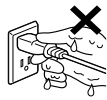
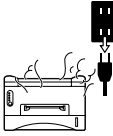
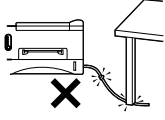
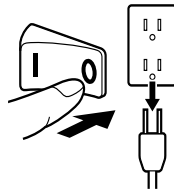
注意

製品を的確に使用していただき、製品への損傷を避けるための注意事項です。

ヒント

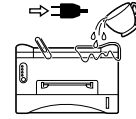
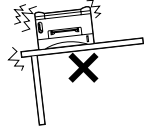
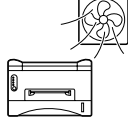
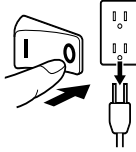
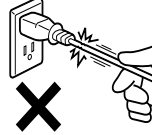
製品の使用にあたり、お客様に役に立つ情報です。

警告

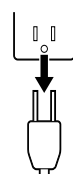
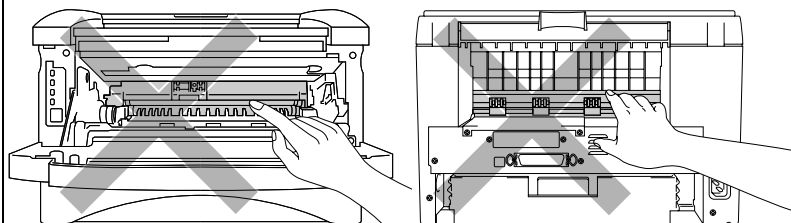
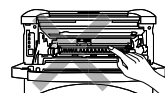
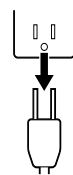
プリンタの使用直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。やけどをするおそれがありますので、フロントカバーまたは背面カバーを開ける際には、プリンタの内部に手を触れないでください。**下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。**

⚠高温注意
前面

⚠高温注意
背面

プリンタ内部には、電圧の高いものがあります。プリンタのクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。

電源を切り電源コードを抜く

安全上のご注意

⚠ 警告	
電源は必ず、AC100V、50Hzまたは60Hzで使用してください。 それ以外の電源を使用すると、火災、感電のおそれがあります。	AC100V 50/60Hz
タコ足配線をしないでください。 火災、感電のおそれがあります。	
アース接続してください。 下図のように、電源コードのアース線をコンセントのアース端子に確実に接続してください。 アース接続がされないで万一漏電した場合、火災、感電のおそれがあります。	
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。	
発熱している、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用しないでください。 火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、製品をお買い求めの販売店またはお近くのサービスステーションにご相談ください。	
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり無理に曲げたりしないでください。 電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。	

⚠ 警告	
異物や水などの液体がプリンタの内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社にご相談ください。 そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。	
輸送用のビニール袋をかぶったりして遊ばないでください。 窒息するおそれがあります。特に小さなお子さまの手には届かないように注意してください。	
（本書で指示されている以外の）プリンタの分解や改造はしないでください。 火災、感電、レーザー光線への被爆、レーザー光漏れによる失明のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は製品をお買い求めの販売店またはお近くのサービスステーションにご依頼ください。	
プリンタやドラムユニット・トナーカートリッジは、小さなお子さまの手の届かない場所に設置・保管してください。	

<table>
<tr><th colspan="2">⚠ 注意</th></tr>
<tr><td>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所にプリンタを置かないください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。</td><td></td></tr>
<tr><td>湿気やほこりの多い場所にプリンタを置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。</td><td></td></tr>
<tr><td>せまい部屋で長時間使用するときは、換気に注意してください。</td><td></td></tr>
<tr><td>プリンタのクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。</td><td></td></tr>
<tr><td>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持って抜いてください。）</td><td></td></tr>
</table>

⚠ 注意

プリンタを移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。 コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	
プリンタの使用直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。やけどをするおそれがありますので、フロントカバーまたは背面カバーを開ける際には、プリンタの内部に手を触れないでください。下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。 	
連休等で長期間プリンタを使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	

第1章
はじめに

プリンタと付属品

同梱物

プリンタを箱から出して、以下の付属品がそろっており、破損しているものはないか確認してください。

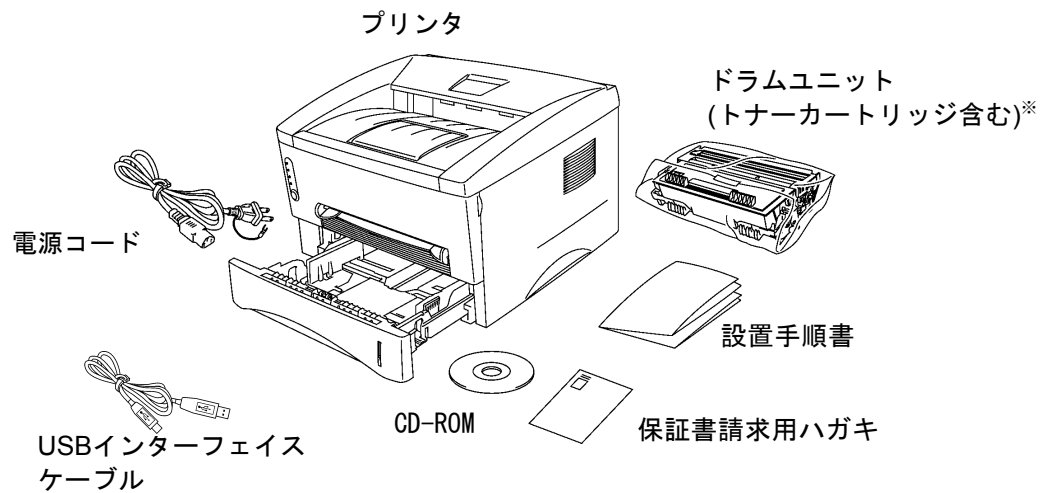



図１－１　箱の中の同梱物

※プリンタ購入時に同梱のトナーカートリッジの寿命は、約3,000枚（A4/レターサイズ、5%印字密度）です。

プリンタについて

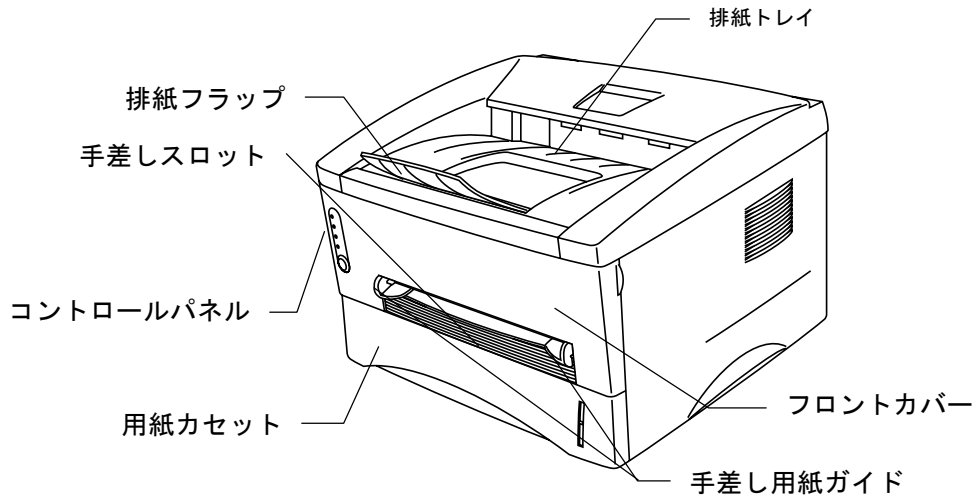



図１－２　前面

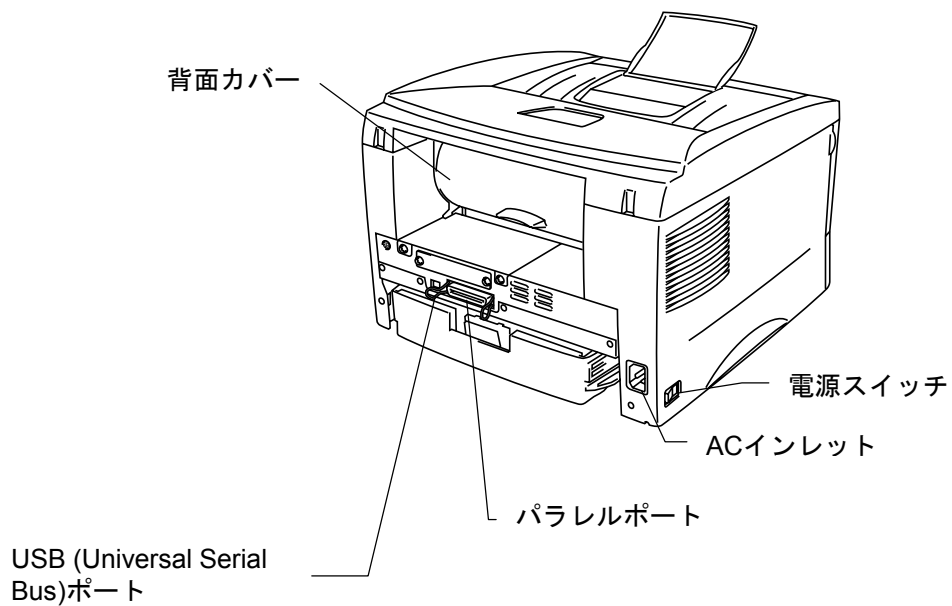



図１－３　背面

このプリンタの特徴

❑ 高解像度 、高速印刷

マイクロファインントナーで600 x 600 dpiの高解像度、A4サイズの用紙で最高毎分12ページ（12ppm）の高速印刷を実現しました。

❑ フロント操作

パネルボタンやトナーカートリッジ交換などの基本的な操作は、プリンタの前面から簡単に行えます。

❑ 多種多様な印刷媒体に対応

用紙カセットより、用紙を自動で給紙します。 用紙カセットは、A4、レター、B5、A5サイズの用紙を使用できます。 また、手差しスロット（1枚給紙）から、多種多様な用紙を給紙もできます。 詳細は、第1章の“使用できる用紙”をご参照ください。

❑ 高速処理を実現して使いやすい Windows®プリンタドライバ

Windows® 95/98/Me用及びWindowsNT® 4.0/Windows® 2000用※のプリンタドライバが、同梱のCD-ROMから簡単にインストールできます。　プリンタドライバは、Windowsのアプリケーション上で、印刷を高速化する独自のデータ圧縮モードをサポートしています。また、トナーセーブモード、カスタム用紙サイズ設定、スリープモード、グレースケール調整、解像度、レイアウトなどの様々な設定ができます。プリンタ設定メニューにより、パソコンから簡単にこれらの印刷オプションを設定できます。

※Windows® 2000環境でプリンタをご使用になるときは、WindowsNT® 4.0用プリンタドライバをインストールしてください。その際「デジタル署名が見つかりませんでした」ダイアログが表示されることがありますが、「はい（Y)」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。

❑ クイックプリントセットアップ

デスクトップ上の設定ボタンで、頻繁に変更が必要な設定を簡単に変えることができます。

❑ 双方向パラレルインターフェイスのプリンタ・ステータスモニター(DOS/V機、DOS/V互換機のユーザーのみ使用できます)

プリンタドライバは、双方向パラレル通信によりプリンタの状況を表示することができます。(双方向通信に対応したIEEE1284のパラレルインターフェースケーブルを使用してください。)

プリンタのステータスモニタは印刷を開始すると現れます。 エラーがおきると、このダイアログボックスにエラー内容が表示されます。　例えば、プリンタが用紙切れの場合は、「用紙切れ」とダイアログボックスが示し、エラー回避の適切な方法を指示します。

❑ USB インターフェイス (Windows® 98/ Me/ 2000のユーザーのみ使用できます)

USB (Universal Serial Bus) インターフェイスに標準対応しています。USBインターフェイスをご使用になるときは、 Windows® 98の場合は、プリンタに同梱の「設置手順書」に従ってCD-ROMからUSBドライバをインストールしてください。Windows® 2000, Windows® Meの場合は、CD-ROMに収録のReadme.txtファイルを開き、「Windows®2000用プリンタドライバ」-「2. USBインターフェイスケーブルご使用の場合」又は「Windows® Me用プリンタドライバ」-「2. USBインターフェイスケーブルご使用の場合」をお読みの上、USBドライバをインストールしてください。

❑ 高度なデータ処理能力

独自のデータ圧縮テクノロジーにより、高速・高機能・高品質を実現しました。 このテクノロジーは、グラフィックスやフォントのデータをプリンタメモリに効率的に自動圧縮します。メモリエラーを回避し、プリンタの標準メモリで、拡大フォントを含む600dpiのグラフィックスやテキストデータを、全ページに印刷することができます。

❏ 環境に優しい機能

エコノミーモード（トナーセーブモード）
トナーを節約し印刷コストを削減することができます。校正用の原稿等を印刷するのに便利です。Windowsのプリンタドライバから、トナーの節約率25% と 50%の2種類のエコノミーモードが選択できます。

スリープモード（電力節約モード）
プリンタを一定時間使用しないと、自動的にスリープモードに移行し、消費電力を削減します。

低ランニングコスト
トナーカートリッジはドラムユニットから取り外すことができますので、約6,000※ページでトナーカートリッジだけを交換し、ドラムユニットは継続して使用することができます。

※プリンタ購入時に同梱されているトナーカートリッジの寿命は、約3,000枚です。

トナーカートリッジの実際の印刷ページは、印刷内容によって異なります。上記数字は、1ページあたり５％の印字密度を基準に算出されています。

ドラムユニットは、約20,000ページ印刷できます。しかし、実際のドラムの寿命は温度、湿度、使用されている用紙、一回の印刷で印字される枚数などによって異なります。

使用環境

プリンタのご使用前に、以下の点に注意してください。

供給電源

- プリンタは適切な電力範囲で使用してください。
  電源電圧：　100V ±10%
  電源周波数：　50/60 Hz
- 電源コード（延長コードを含む）は、5メートルを超えるものは使用しないでください。
- 冷暖房器具、コピー機、シュレッダー等の、消費電力が高い電化製品と同じ電源コンセントは使用しないでください。このような製品とともにプリンタを使用する場合は、市販のノイズフィルターを使用することをおすすめします。
- 電源電圧が十分でない場合は、電圧調節器を使用してください。

環境条件

- プリンタは容易に抜き差しできる、電源コンセントの近くに設置してください。
- 以下のような温度および湿度でプリンタを使用してください。
  温度：　10°C ～ 32.5°C
  湿度：　20% ～ 80%（結露なきこと）
- プリンタは風通しの良い部屋で使用してください。
- プリンタは平らな面に水平に置いてください。
- プリンタは清潔な状態で使用してください。ほこりの多い場所には置かないでください。
- プリンタの通気口をふさぐようにプリンタを置かないでください。
- 通気口と壁は、約10cm離してください。
- プリンタを直射日光が当たる場所には置かないでください。やむを得ず窓の近くにプリンタを置く場合は、直射日光からプリンタを守るように、ブラインドやカーテンを引いてください。
- 磁気製品の近くにはプリンタを置かないでください。
- プリンタに強い衝撃や振動を与えないでください。
- 火気や腐食性ガスのある場所にプリンタを置かないでください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- 冷暖房器具の近くにプリンタを置かないでください。
- 持ち運びの際はプリンタを水平に保ってください。
- 排紙トレイををふさがないでください。

コンピュータの動作環境

以下の環境を満たしているか、確認してください。

- 80486 SX以上のマイクロプロセッサを搭載したコンピュータ (Pentium® 以上を推奨)
- 10MBのハードディスク空き容量（ドライバとフォント用）
- Microsoft Windows® 95/98/Meまたは Windows NT® 4.0 Windows® 2000

使用できる用紙

用紙の種類

	種類	サイズ
用紙カセット	普通紙、再生紙 OHP用紙 官製はがき	A4、レター、 JIS B5、 A5 A4、レター
手差しスロット	普通紙、再生紙 封筒 システム手帳用紙 OHP用紙 ラベル紙 はがきその他	A4、レター、 JIS B5、リーガル、A5、A6 洋形4号、洋形定形最大 長形3号、長形4号 バイブルサイズ A4、 レター A4、 レター 70-216 x 116-356 mm

用紙の規格

用紙カセット

	普通紙
坪量	60 ～ 105 g/m^2
厚さ	0.08 ～ 0.13 mm
水分含有量	重量の4% ～ 6%

手差しスロット

	普通紙	封筒
坪量	60 ～ 158 g/m^2	75 ～ 90 g/m^2
厚さ	0.08 ～ 0.2 mm	0.084 ～ 0.14 mm
水分含有量	重量の4% ～ 6%	重量の4% ～ 6%

ヒント

- ラベル紙やOHP用紙は、レーザープリンタ用のものを使用してください。
- プリンタの故障を防ぐために、使用する用紙サイズや印刷媒体の種類により、印刷速度は変化します。

用紙容量

用紙カセット

A4/レター用紙:　80 g/m^{2}で約 250枚　高さ27 mmまで(用紙マークまで)

OHP用紙　10枚

官製はがき　30枚

排紙トレイ（印刷面が下向き）

A4/レター用紙:　　80 g/m²で約150枚

プリンタ背面への排紙（印刷面が上向き）

すべての用紙:　　1枚

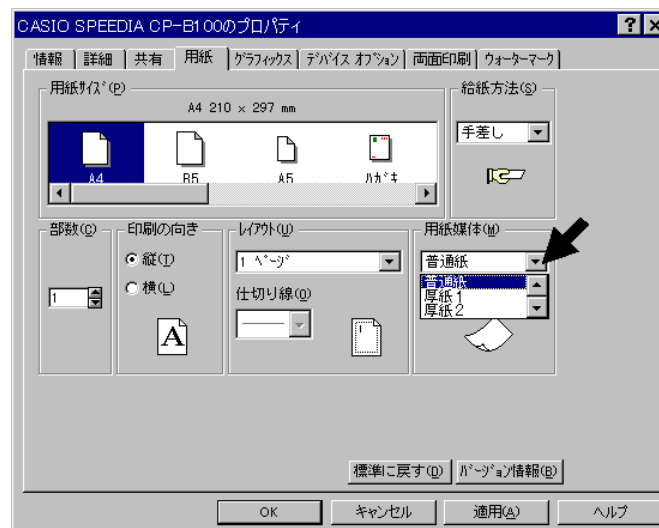
推奨紙

普通紙	三菱スピードダイヤ中性紙（64g/m²） XEROX L紙
再生紙	ホワイトやまゆり
ラベル	エーワンレーザーラベル 28352 XEROX FX P/N V862（ラベル） XEROX FX P/N V860（ラベル）
OHP用紙	住友3M CG3300
封筒	ケント80白　長形3号（120×235mm） ケント80白　長形4号（90×210mm）

＜用紙媒体の設定方法＞

ご使用になる用紙の厚さや種類によって、プリンタドライバの用紙媒体を選択してください。選択の目安は、以下の通りです。

①普通紙（60～75g/m²）……普通紙モード
②普通紙（75～105g/m²）……普通紙（厚口）モード
③普通紙（105g/m²以上）……厚紙（ハガキ）モード
④官製はがき………………厚紙（ハガキ）モード
⑤ラベル紙、封筒…………厚紙（ハガキ）モード
⑥OHP用紙……………………OHPモード

※厚紙（ハガキ）モードでもトナーが定着しにくいときは、超厚紙モードに設定してください。印刷スピードが遅く（6枚/分・A4）なり、より強力にトナーが定着します。

注意

- 使用する用紙、特に再生紙、ラベル紙、OHP用紙などの特殊なサイズや種類の用紙を購入される前には、あらかじめ少量の用紙を試されることをおすすめします。
- ビニール加工された用紙は使用しないでください。
- あらかじめ印刷された用紙や表面が極端になめらかな用紙は使用しないでください。
- 用紙カセットからの給紙の際に用紙送りに問題がおこった場合は、手差しスロットから給紙してみてください。
- PPC用紙またはレーザープリンタ用紙をお使いください。インクジェットプリンタ用紙をお使いになりますと、プリンタの感光ドラムに損傷を与え、印字品質が劣化することがあります。
- 中性紙をご使用ください。酸性紙をお使いになりますと、プリンタの感光ドラムに損傷を与えるおそれがあります。
- 最高の印字品質を得るために、添付のプリンタドライバ上で必ず適切な用紙タイプを選択してください。
- 以下のような使い方をしますと、プリンタのドラムユニットの寿命が短くなったり、印字品質が損なわれたりすることがあります。
  ◊　特別な用途にのみプリンタを使用した時（名刺印刷やハガキ印刷など）

普通紙、再生紙

- 安定した紙送りや最高の印字品質を得るために、たて目用紙を使用されることをおすすめします。

ラベル紙、OHP用紙

- 台紙がついていないラベル紙は給紙しないでください。プリンタに損傷を与えることがあります。
- レーザープリンタの内部は印刷中高温になりますので、その熱に耐えうる素材のラベル紙やOHP用紙を使用してください。

その他の用紙

- システム手帳用紙のような穴のあいた用紙は、紙づまりや給紙ミスを防ぐため、よくさばいてから使用してください。
  注意：用紙をさばくときに手を切らないようご注意ください。

- システム手帳用紙などで端が糊で束ねてあるようなものは使用しないでください。糊がプリンタの内部に残ってプリンタに損傷を与えることがあります。

- 使用される前に用紙にそりがないか確かめてください。もしある場合は、できるだけまっすぐにしてください。紙づまりや給紙ミスの原因になります。

図１－４　用紙をさばく／まっすぐにする

- 異なったタイプの用紙を一度に用紙カセットに入れてお使いになると、紙づまりや給紙ミスがおこることがあります。

- システム手帳用紙などの穴のあいた用紙の穴部分に印刷しないでください。

封筒

下記のような封筒は使用しないでください。

- そりやしわのある封筒。規格外の封筒。
- 表面に光沢のある封筒や表面がすべりやすい封筒。
- とめ金のついた封筒。
- 封に粘着のりがついた封筒。
- マチのついた封筒。
- 折り目がしっかりついていない封筒。
- 浮き彫り模様がついた封筒。
- レーザープリンタで印刷された封筒。
- 中が印刷された封筒。
- 一定に積み重ねられない封筒。
- クラフト封筒（「特白」相当の普通紙（70g/㎡～80g/㎡）のものをお勧めします）。
- ダブル封筒（内張り等が無いシングル封筒をご使用ください）。

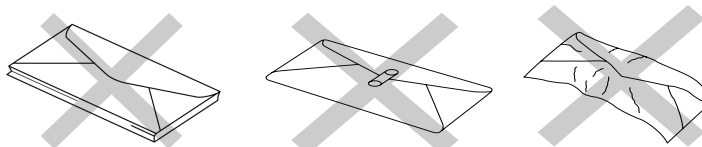
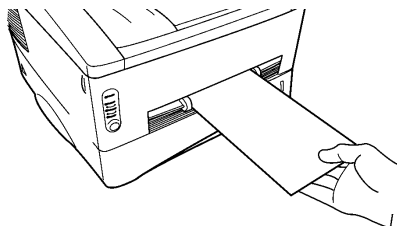



図１－５　封筒

- 長形封筒に印刷するときは、図のように封筒の開封口側からフタを閉じて給紙してください。

※封筒に印刷すると、封筒の裏面にシワが発生することがあります。

印字可能範囲

印字可能範囲は下図をご参照ください。

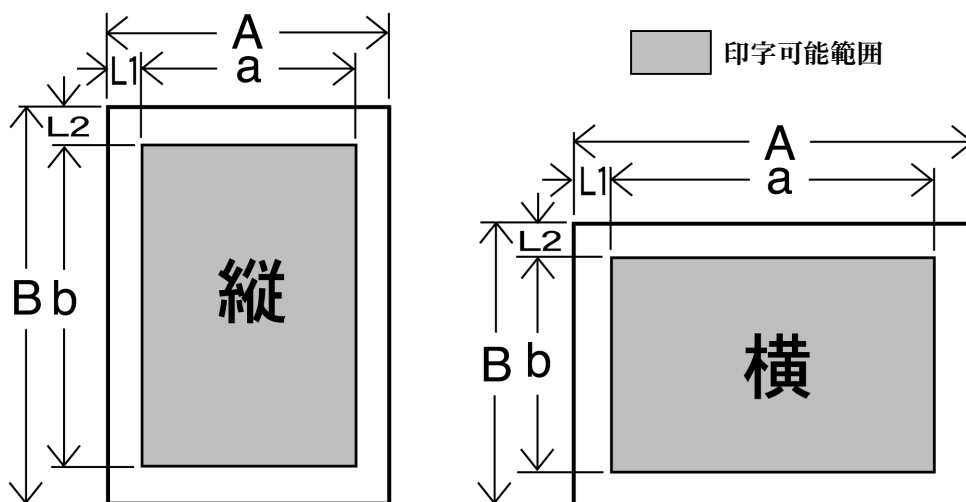



図１－６　印字可能範囲

300DPIにおけるドット数　　［1ドット＝約0.0867mm］

用紙名	印刷の向き	物理幅 A	物理長 B	描画幅 a	描画長 b	左余白 L1	上余白 L2
A4	縦	2480	3507	2359	3386	60	60
	横	3507	2480	3386	2359	60	60
B5	縦	2149	3035	2007	2935	71	50
	横	3035	2149	2917	2049	59	50
A5	縦	1754	2480	1612	2380	71	50
	横	2480	1754	2362	1654	59	50

用紙カセットへの給紙方法

☛ **1.**　用紙カセットをプリンタから完全に引き出します。

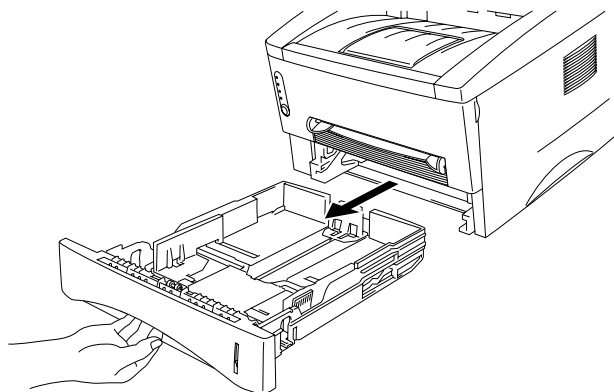



図１－７　用紙カセットを引き出す

☛ **2.**　用紙カセット内の用紙ガイドを、使用する用紙のサイズに合わせます。このとき、用紙ガイドの爪が溝にしっかりはまるようにしてください。

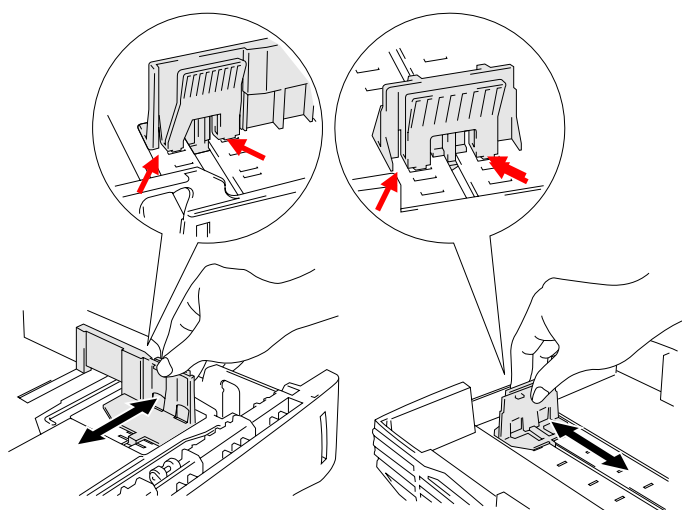



図１－８　用紙ガイドを合わせる

☛ **3.** **用紙カセットに紙を入れます。用紙が平らにセットされていることを確認してください。**

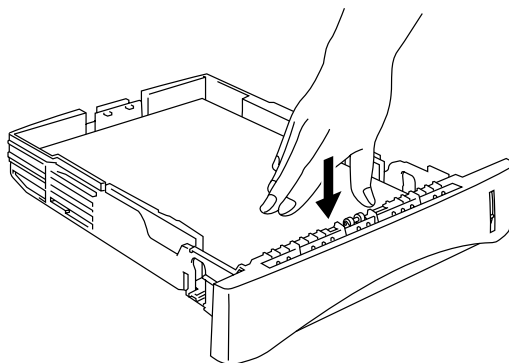



図１－９ 紙を入れる

ヒント

用紙カセットには、250枚(80 g/m²)以上入れないでください。紙づまりがおこる可能性があります。用紙を入れるのは必ず用紙マークの下までにしてください。

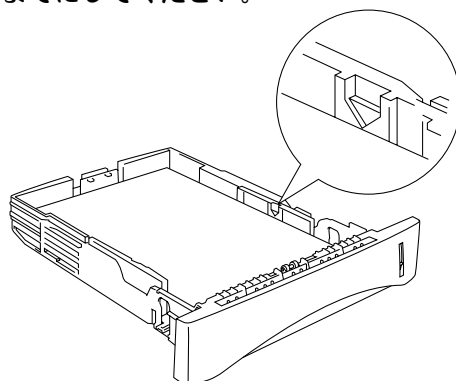



図１－１０　用紙マーク

☛ **4.** 用紙カセットをプリンタに装着します。用紙カセットがプリンタにしっかりと装着されているか確認してください。

ヒント

紙がすべり落ちるのを防ぐために、排紙フラップを伸ばしてください。

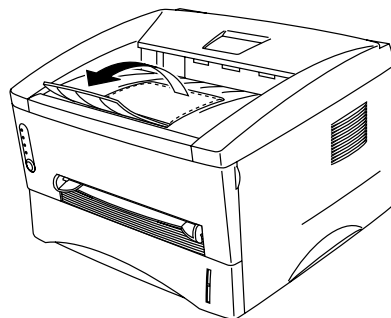



図１－１１　排紙フラップを伸ばす

排紙フラップを伸ばさない場合は、1枚印刷されるごとに紙を取り除くことをおすすめします。

注意

特に0HP用紙を使用する際は、1枚印刷されるごとに取り除いてください。

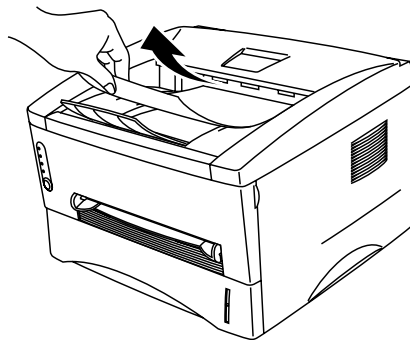



図１－１２　紙を取り除く

手差し給紙の方法

ヒント

- 手差しスロットから給紙する際は、両手で給紙してください。
- 手差しスロットから用紙を入れると、プリンタは自動的に手差し給紙モードに変わります。
- A4～A6サイズ、または64 g/m^2 ～ 105 g/m^{2}の用紙を使用する際は、できるだけ用紙カセットをご使用いただくことをおすすめします。

☛ **1.**　プリンタドライバで手差しモードを選択します。

<Windows 95 / 98/ Me>

<Windows NT4.0/ Windows 2000>

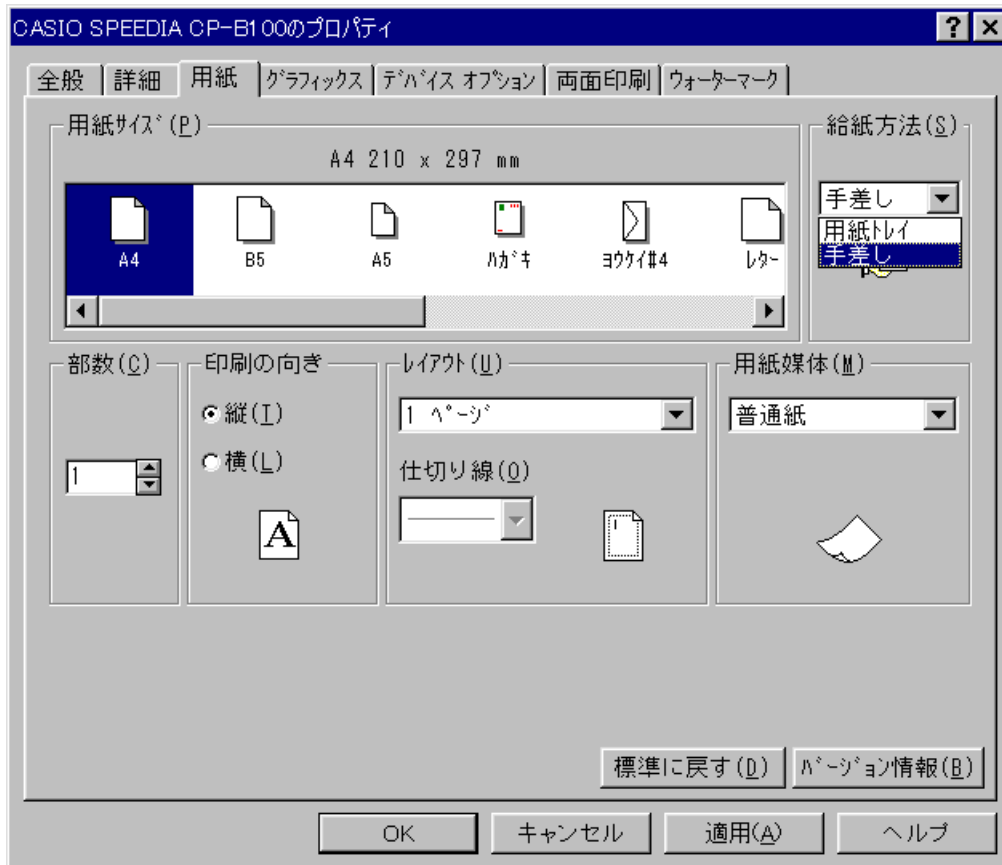
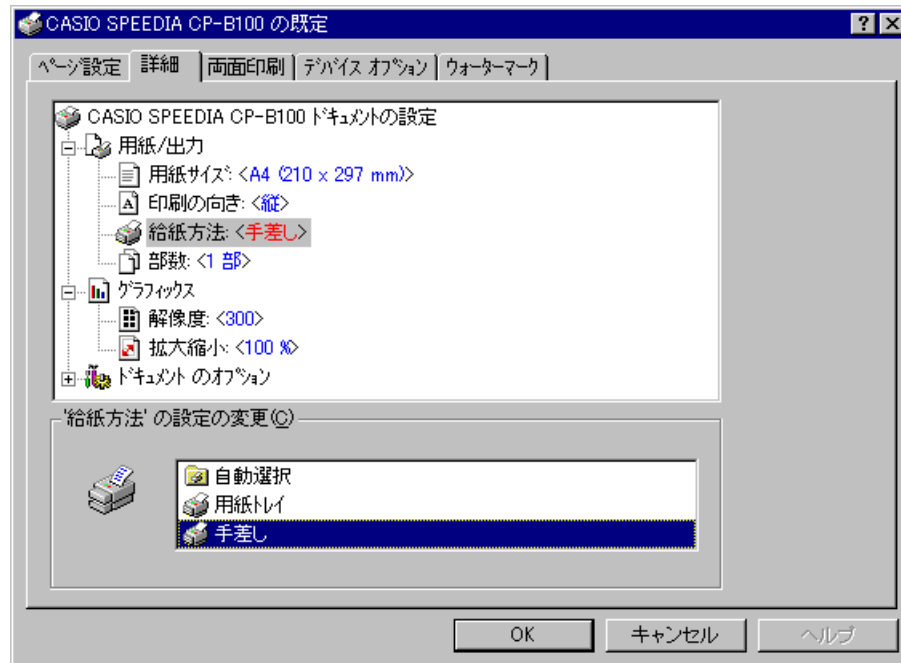



図１－１３　手差し給紙モード選択

☛ **2.**　ご使用のソフトウェアから印刷します。

ヒント

手差しスロットから給紙するまで、“紙切れ”メッセージがステータスモニターに表示されます。

☛ **3.**　両手で手差し用紙ガイドを用紙幅に合わせます。

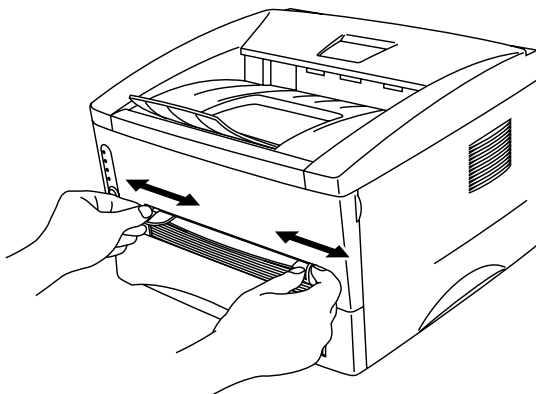



図１－１４　手差し用紙ガイドを調節

☛ **4.**　用紙を両手で持って、先端が給紙ローラーに突き当たるまで挿入します。（用紙が少し膨らむ程度押し当ててください）用紙が自動的に少し給紙されるまではそのまま保持してください。

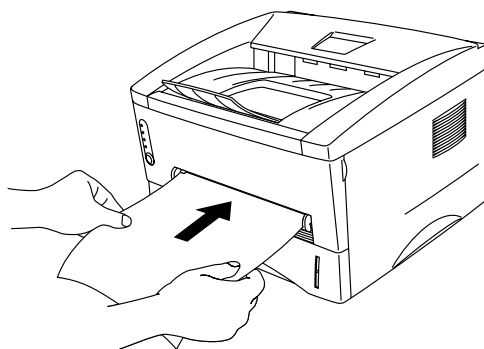



図１－１５ 給紙

☛ **5.**　印刷した用紙をプリンタが排出したら、ステップ４にしたがって次の用紙を挿入します。プリンタは、次の用紙が挿入されるまで待機します。印刷枚数分、この動作を繰り返してください。

厚紙やカードの印刷

プリンタの背面カバーをあげると、手差しスロットから背面までがストレートペーパーパスになります。厚紙やカードに印刷する際に、そりがほとんど無く画面印刷ができます。

☛ **1.** プリンタドライバで手差し給紙モードを選択します。

☛ **2.** プリンタ背面の背面カバーをあげます。

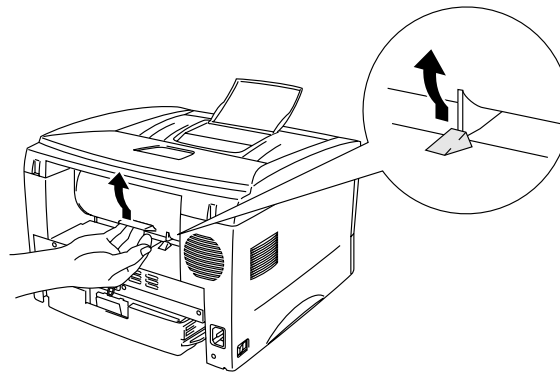



図１－１６　背面カバーをあげる

☛ **3.** ご使用のソフトウェアから印刷します。

ヒント

手差しスロットから給紙するまで、“紙切れ”メッセージがステータスモニターに表示されます。

☛ **4.** 両手で手差し用紙ガイドを用紙幅に合わせます。

☛ **5.** 用紙を両手で持って、先端が給紙ローラーに突き当たるまで挿入します。（用紙が少し膨らむ程度押し当ててください）用紙が自動的に少し給紙されるまではそのまま保持してください。

☛ **6.** 印刷した用紙をプリンタが排出したら、ステップ５にしたがって次の用紙を挿入します。プリンタは、次の用紙が挿入されるまで待機します。印刷枚数分、この動作を繰り返してください。

☛ **7.** プリンタの背面カバーを閉めます。

注意

1枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を排出口に溜めておくと、そりや紙づまりの原因になります。

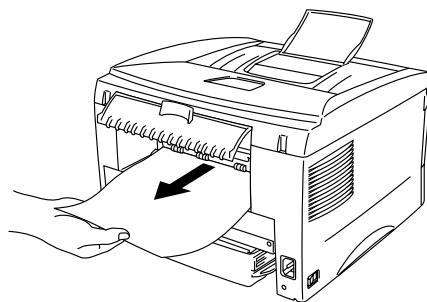



図１－１７　紙を取り除く

両面印刷の方法

同梱の Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0/Windows 2000用の プリンタドライバでは、両面印刷もできます。設定についての詳細は、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。

両面印刷のガイドライン

1 用紙が薄すぎる場合は、しわになることがあります。

2 用紙がそっている場合は、まっすぐにのばしてから用紙カセットに入れてください。

3 用紙はレーザープリンタ用紙をお使いください。ボンド紙は使用しないでください。

4 紙を用紙カセットにセットする際には、用紙カセット内に残っている紙を一度取り出してください。その後、印刷した用紙のみを、印刷されている面を上にして入れてください。　（印刷されていない用紙の上に、印刷された用紙を重ねることはしないでください。）

5 用紙が正常に給紙されない場合は、用紙がそっている恐れがあります。用紙を取り出してまっすぐにのばしてください。

用紙カセットから両面印刷をする方法

☛ **1.** プリンタドライバで、両面印刷モードに設定します。

☛ **2.** プリンタはまず用紙の表面に偶数ページを印刷します。

☛ **3.** 排紙トレイから印刷された偶数ページを取り出し、印刷されている面を上に向けて、用紙カセットに戻します。コンピュータの画面にダイアログボックスが表示されますので、画面の指示にしたがってください。

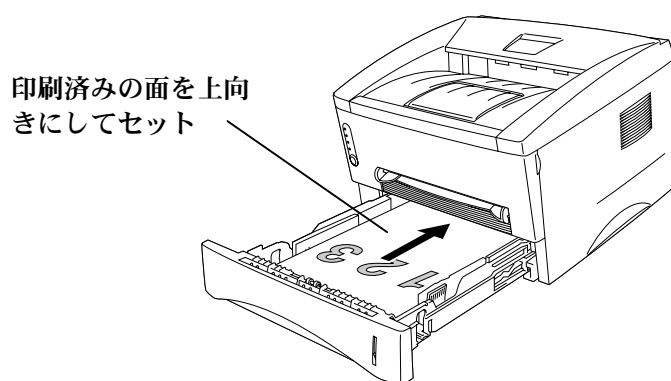



図１－１８　用紙カセット内の用紙の向き

注意

両面印刷のバインドタイプによっては、下端を手前にするものもあります。

☛ **4.** プリンタは自動的に、用紙の裏に奇数ページを印刷します。

手差しスロットからの両面印刷の方法

注意

- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙のそりは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりがおこったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりがおこった場合は、第4章“紙づまりと解除の方法”をご参照ください。

☛ **1.** プリンタドライバで、両面印刷モードと手差し給紙モードに設定します。

☛ **2.** 両手を使用して、最初に印刷される面を上にして、手差しスロットから用紙を挿入してください。
コンピューターの画面の指示にしたがってください。
すべての偶数ページの印刷が終了するまでこの動作をくり返してください。

☛ **3.** 排紙トレイから、印刷された偶数ページを取り出し、印刷したい面を上にして、順番に手差し給紙スロットから挿入してください。詳細はコンピュータの画面の指示にしたがってください。

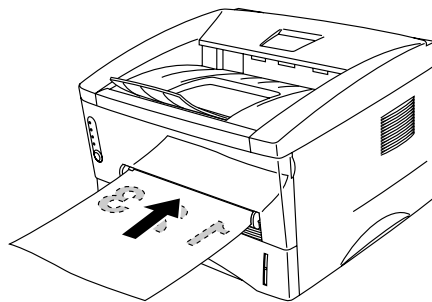



図１－１９ 手差しスロットの用紙の向き

☛ **4.** 裏面に奇数ページをすべて印刷し終わるまで、ステップ３の動作を繰り返してください。

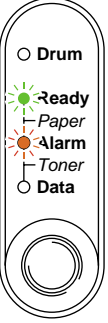
コントロールパネル

ここではコントロールパネル上のランプとボタンについて説明します。

表の中に出てくるランプの図が示す状態は、以下の通りです。

ランプ消灯
ランプ点滅
ランプ点灯

ヒント

電源が切ってある、またはプリンタがスリープモードに入っている時は、 **Ready**ランプを含めすべてのランプは消灯しています。

Ready (Paper) ランプ

Readyランプは、プリンタの以下のような状態を示しています。

ランプ	プリンタの状態
❍	電源が切ってあるか、プリンタがスリープモードに入っています。プリンタは、データを受信するかコントロールパネルのボタンを押すことにより、スリープモードから復帰します。
（点滅）	（1秒ごとに点滅） プリンタはウォームアップ中です。 （2秒ごとに点滅） プリンタは冷却中です。プリンタ内部の温度が下がるまで、ランプは点滅します。
（点灯）	プリンタは印刷可能な状態です。

Readyランプは、Alarmランプとの組み合わせでPaper ランプとなります。Alarmランプとreadyランプが同時に点滅して、用紙エラー（紙切れや紙づまり）を知らせます。

ランプ	エラー	対策
Drum Ready Paper Alarm Toner Data	紙づまり	第4章“紙づまりと解除の方法”を参照して、紙づまりを解除してください。その後、プリンタが自動的に印刷を開始しない場合は、コントロールパネルのボタンを押してください。
	紙切れ	第1章“用紙カセットへの給紙方法”を参照して、用紙を入れた後、コントロールパネルのボタンを押してください。
	給紙ミス	用紙を入れなおして、コントロールパネルのボタンを押してください。

Data (Toner) ランプ

Dataランプは、印刷状態を示します。

ランプ	プリンタの状態
❍	プリンタにデータはありません。
	プリンタは、コンピュータからデータを受信中、またはメモリの中のデータを処理中です。
	印字データがプリンタのメモリに残っています。Dataランプが長い間点灯したままで何も印刷されない場合は、コントロールパネルのボタンを押して、残っているデータを印刷してください。

Dataランプは、 **Alarm**ランプとの組み合わせで **Toner**ランプになります。
Alarmランプと **Data**ランプは同時に点滅して、トナーエラーを知らせます。
詳細は、第3章“トナーカートリッジの交換”をご参照ください。

ランプ	エラー	対策
○ Drum ○ Ready Paper ● Alarm Toner ● Data 5秒ごとに点滅	トナー少量	トナーが残り少なくなっています。新しいトナーカートリッジを購入し、トナー切れに備えてください。
○ Drum ○ Ready Paper ● Alarm Toner ● Data	トナー切れ	第3章の「トナーカートリッジの交換」を参照して、トナーカートリッジを新しいものと交換してください。

Drumランプ

Drumランプはドラムユニットの寿命を知らせます。

ランプ	プリンタの状態
❍	ドラムユニットは使用可能です。
●	ドラムユニットの寿命が終わりに近づいています。新しいドラムユニットを装着してページカウンタのリセットを行うと、このランプは消灯します。詳細は、第3章“ドラムユニットの交換”をご参照ください。

Alarmランプ

“カバーオープン”や“メモリフル”のようなエラーがおこると、Alarmランプが点滅します。（Alarmランプのみの点滅）
他のエラーがおこった時は、 Alarmランプと他のランプが同時に点滅するか、プリンタがエラー内容を印刷してエラーを知らせます。詳細は、第4章“コントロールパネルの表示”をご参照ください。

ボタン

コントロールパネルのボタンは、状況に応じて以下のような用途に使用できます。

印刷の中止

印刷中にこのボタンを押すと、プリンタはすぐに印刷を中止して用紙を排出します。

スリープモードからの復帰

スリープモードに入っているときにボタンを押すと、プリンタはスリープモードから復帰して、印刷可の状態になります。プリンタが印刷可の状態になるまで常温常湿で約45秒かかります。

用紙排出

Dataランプが点灯中にボタンを押すと、プリンタはメモリに残っているデータを印刷します。この操作を「用紙排出」と呼びます。

エラー状態からの復帰

プリンタには、自動的に回復できるエラーがありますが、自動的に回復しないときは、ボタンを押してエラーを解除し、印刷操作を続けてください。

その他の機能

プリンタには、この他に以下のような機能があります。

スリープモード

プリンタは一定時間（タイムアウト）データを受信しないと、スリープモードに入ります。スリープモードでは、プリンタは電源が入っていないような状態になります。スリープモードに入るまでの初期設定値は5分です。 .
プリンタがスリープモードに入っている間は、電源が切られているときと同じように、すべてのランプが消灯しますが、コンピュータからデータを受信することはできます。プリンタは、ファイルや文書のデータを受信すると、自動的にスリープモードから復帰して印刷を始めます。
コントロールパネルのボタンを押すことにより、スリープモードから復帰させることもできます。

ヒント

- プリンタがスリープモードに入っても、プリンタの機内が冷めるまでファンは止まりません。
- スリープモードでは、機内が冷却されますので、室温やスリープモードに入ってからの経過時間によって、ウォームアップタイムは異なります。通常ウォームアップタイムは約45秒で、**Ready**ランプが点滅してプリンタがウォームアップ中であることを知らせます。
- スリープモードのタイムアウトは、プリンタドライバで変更することができます。スリープモードの設定についての詳細は、プリンタドライバのヘルプをご参照ください。

テストプリントモード

プリンタにはテストプリントモードがあります。 以下の手順にしたがってください。

☛ **1.** フロントカバーが閉まっていることを確認します。

☛ **2.** コントロールパネルのボタンを押しながら、電源スイッチを入れます。 **Drum** ランプが点灯するまで待って、コントロールパネルのボタンから指をはなします。

この場合の**Drum**ランプの点灯は、プリンタがテストプリントモードに入っていることを知らせています。

☛ **3.** もう一度コントロールパネルのボタンを押します。プリンタはテストページを印刷します。 また、下記の表にあるような他のオプションを選択したい時は、該当のランプが点滅するまでボタンを押しつづけてください。

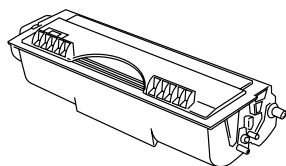
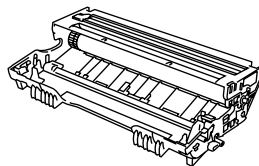
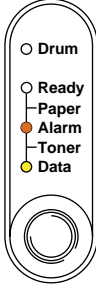
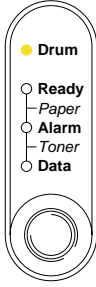
点灯するランプ	選択	機能
Drum	テストページ	プリンタはテストページを印刷します。印刷が終わるとプリンタは、印刷可の状態にもどります。
Ready	プリンタ設定とフォントリスト	プリンタは、現在の設定状態と内蔵フォントリストを印刷します。印刷が終わるとプリンタは、印刷可の状態にもどります。
Alarm	工場出荷設定値	プリンタは工場出荷設定値に戻されます。印刷が終了すると、プリンタは印刷可の状態に戻ります。
Data	ヘキサダンプ印刷	プリンタは、データエラーや問題をチェックできるように、データを１６進の値として印刷することができます。このモードを終了する時は、プリンタの電源を切ってください。

第2章
消耗品

消耗品

このプリンターには以下の種類の消耗品があります。

消耗品

	品名	詳細
1	トナーカートリッジ	3-3
2	ドラムユニット	3-10

第3章
プリンタの保守

以下はメンテナンス メッセージとコントロールパネル上のランプの点灯の説明です。これらのメッセージにより消耗品の寿命が来る前に交換の時期を知ることが出来ます。

ﾗﾝﾌﾟのﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒｯｾｰｼﾞ	交換する消耗品	概算の寿命	交換の方法
トナー切れ	トナーカートリッジ	約6,000ページ* 但し、プリンタ購入時に同梱のトナーカートリッジの寿命は、約3,000枚です。	3-3を参照
ドラムの寿命	ドラムユニット	最大20,000ページ*	3-10を参照

＊ 実際の印字枚数は１回の印刷指令で印字する枚数や用紙の種類、環境、条件等によって左右されます。ここで示した数値は５％の印字密度を基準に算出されています。

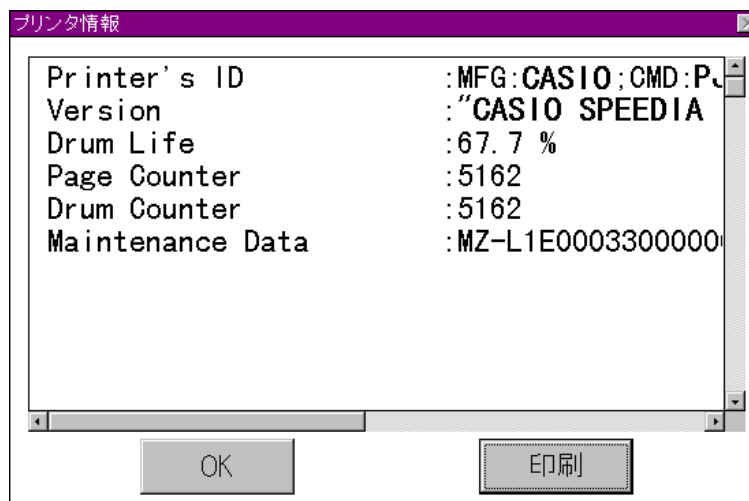
定期交換部品（有償部品）について

定期交換部品とは、プリンタを構成する部品の中でお客様の使用量（又は、使用時間）に比例して摩耗や機能低下が発生するため、使用量に応じて交換を必要とする有償の部品のことです。定期交換部品の交換はサービスマンが行いますので、お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノサービスステーション（A-11ページ）にお申し付けください。

定期交換部品名称	寿命目安
定着器	約50,000ページ
分離パッドホルダー	約50,000ページ
給紙ローラー	約50,000ページ

●定期交換部品の寿命目安は以下の条件です。ただし、お客様のご使用形態により異なりますので、寿命目安より早く交換が必要となることがあります。
①平均通電時間は、1日8時間
②A4サイズに印字面積比5％で印刷
③1回の印刷で1枚印刷
④環境は常温・常湿
⑤用紙は推奨の普通紙（三菱スピードダイヤ中性紙（64g/m^2）を使用）

●定期交換部品は、寿命を超えて使用すると印刷品質の低下や紙づまりだけでなく故障の原因となることがあります。

●印刷枚数は、'プリンタ情報'ユーティリティソフトを起動すると確認できます。(DOS/V機、DOS/V互換機のみ使用可能。但し機種によっては使用できないことがあります。)

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジの寿命は約6,000ページ（A4/レターサイズ、5%印字密度）です。寿命に近づくと、 **Alarm**ランプと **Data**（Toner）ランプが５秒ごとに点滅して、残りのトナーが少なくなったことを知らせます。

ヒント

- トナー少量の表示が現れたときのために、新品のトナーカートリッジを常に用意しておくことをおすすめします。
- CASIOは地球環境保護のため、使用済みのトナーカートリッジとドラムユニットを回収しリサイクルしています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」をご覧ください。
- トナーカートリッジを交換する際に、プリンターのクリーニングをすることをおすすめします。この章の「プリンタのクリーニング」をご覧ください。
- トナーカートリッジの実際の寿命は温度、湿度、使用されている用紙、一回の印刷で印字される枚数、印刷内容（文書かグラフィックか）などによって左右されます。理想的な使用方法、環境下での平均的なトナーカートリッジの寿命は約6,000ページです。実際のトナーカートリッジの寿命はこれよりも短いことがあります。トナーカートリッジの寿命を左右する要因は様々であるため、トナーカートリッジの最低限の印字枚数に関しては責任を負いかねます。

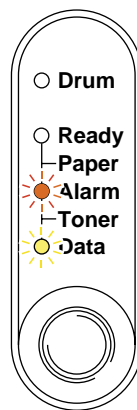



図 3-1 トナー少量の表示

ヒント

Alarmランプと **Data** (Toner)ランプの両方が点灯したままだと、トナー切れです。新しいトナーカートリッジを装着するまでランプは消灯しません。

トナーカートリッジの交換は以下の手順でおこなってください。

☛ **1**. フロントカバーを開け、ドラムユニットを取り出します。

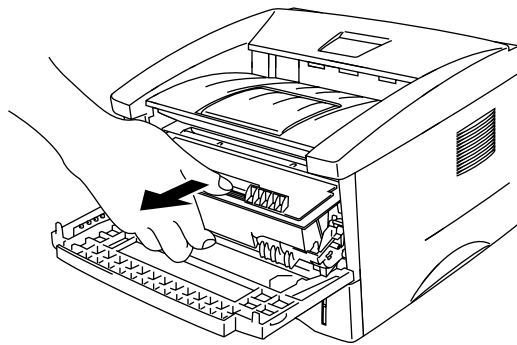



図 3-2 ドラムユニットを取り出す

注意

- トナーがこぼれたり飛び散ったりしないように、ドラムユニットは不要になった紙や布の上においてください。
- 静電気によるプリンタへの悪影響を避けるため、下図に示した電極には触れないようにしてください。

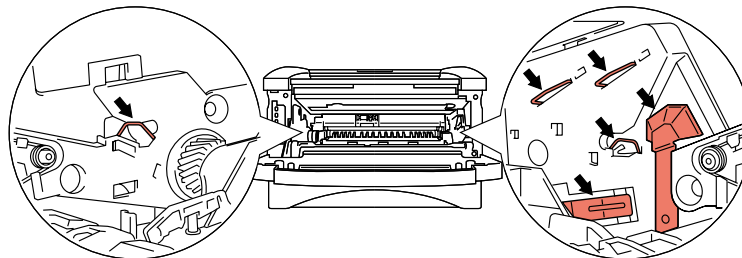



図 3-3 電極

☛ **2**. **使用済みのトナーカートリッジが装着されたドラムユニットを平らで水平なところにおきます。右手でロックレバーを下げた状態で、ドラムユニットからトナーカートリッジを取りはずします。**

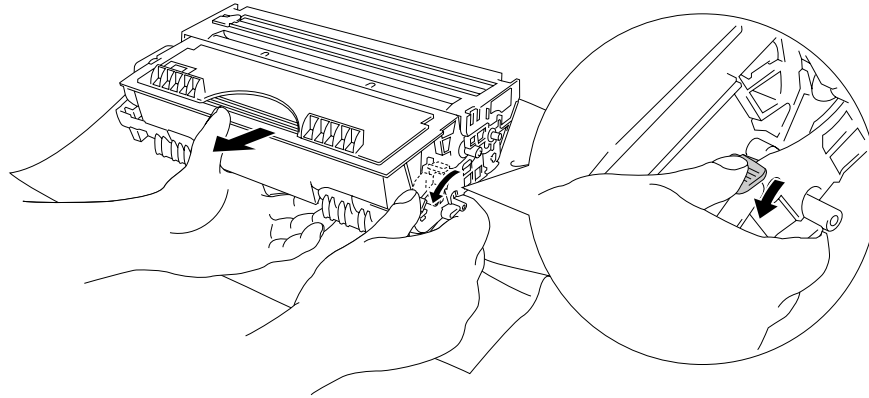



図 3-4　使用済みのトナーカートリッジを取りはずす

注意

トナーカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。万が一、トナーが手や衣服についた場合は、すぐに拭くか水で洗い流してください。

☛ **3**. **新しいトナーカートリッジを袋から取り出し、水平に保ったまま５、６回ゆっくり振ります。**

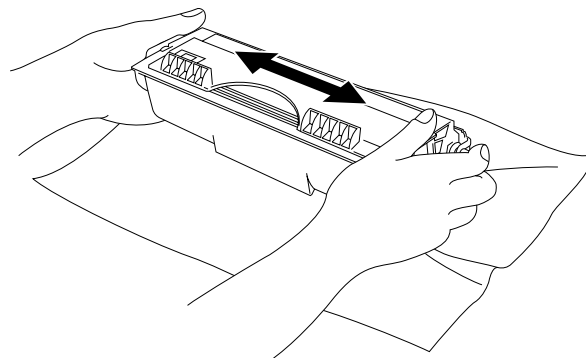



図 3-5　トナーカートリッジをゆっくり振る

☛ **4**. 保護カバーをはずします。

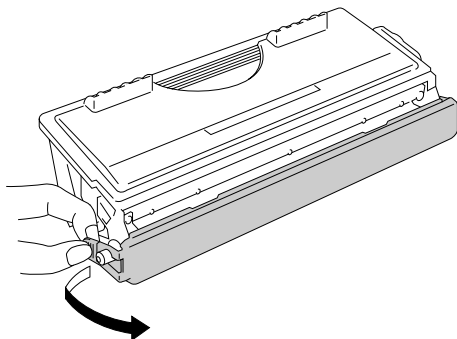



図 3-6 保護カバーをはずす

注意

- トナーカートリッジは、プリンタへの装着直前に袋から取り出してください。袋から出して長時間放置すると、トナーの寿命が短くなることがあります。
- 袋から出したドラムユニットを直射日光や室内照明にさらすと、ドラムユニットが悪影響を受けることがあります。
- 最高の印字品質を得るために、トナーカートリッジはCASIO純正トナーカートリッジを使用してください。
- 他社のトナーやトナーカートリッジを使用すると、印字品質が低下するだけではなく、プリンタそのものの品質や寿命が低下することがあります。また、ドラムユニットの性能や寿命にも深刻な悪影響を与える可能性があります。他社のトナーやトナーカートリッジを使用したために発生した問題については、保証の対象とはなりません。
- 保護カバーをはずした後は、すぐにトナーカートリッジを装着するようにしてください。下図のグレーの部分には手を触れないでください。

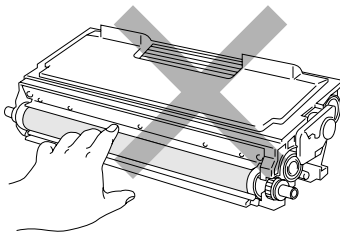



図 3-7　現像ローラー

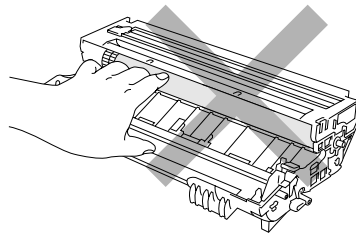



図 3-8　感光ドラム

☛ **5.** 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着します。カチッという装着音がしてロックされたことを確認してください。トナーカートリッジが正しく装着されると、ロックレバーが自動的に上がります。

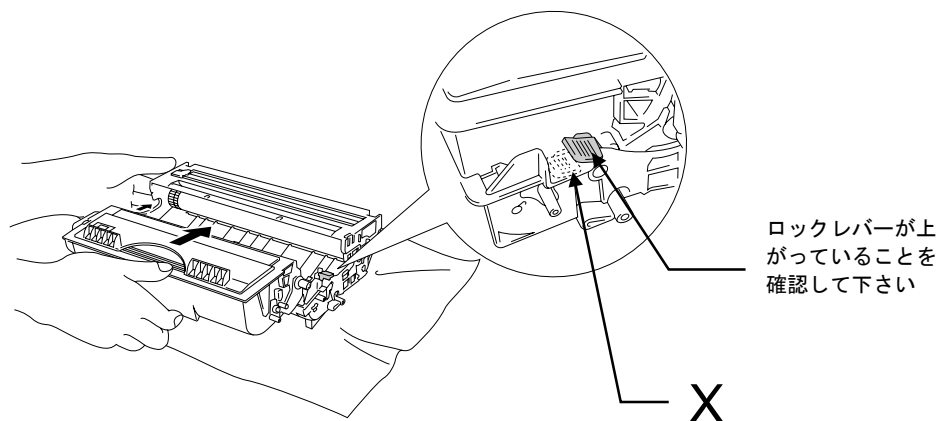



図 3-9 トナーカートリッジをドラムユニットに装着する

注意

トナーカートリッジが正しく装着されたことを確認してください。正しく装着されていない場合には、ドラムユニットを持ち上げた際にトナーカートリッジがドラムユニットからはずれることがあります。

☛ **6.** **青色のタブを数回左右にゆっくりとスライドさせて、ドラムユニットの内側にあるコロナワイヤのクリーニングをします。ドラムユニットを再度装着する前に、タブをホームポジションに戻します。**

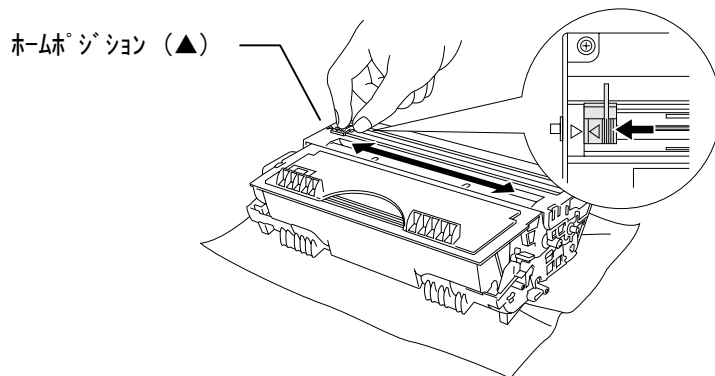



図 3-10　コロナワイヤのクリーニング

注意

ドラムユニットをプリンタに再度装着する前に、タブがホームポジション（▲印の位置）に戻されていることを確認してください。ホームポジションに戻されていないと、印刷ページにたて線が入ることがあります。

☛ **7.** **ドラムユニットをプリンタに再度装着し、フロントカバーを閉じます。**

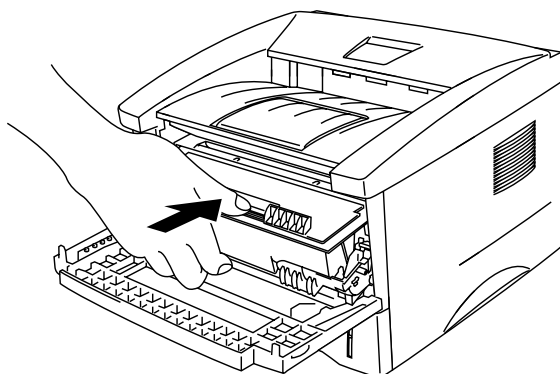



図 3-11　ドラムユニットの再装着

ドラムユニットの交換

このプリンタは用紙に印刷イメージを作るためにドラムユニットを使用しています。ドラムユニットが寿命に近づくと、Drumランプが点灯して知らせます。 交換用の新しいドラムユニットを用意してください。 Drumランプが点灯しても、そのドラムユニットでしばらくプリンタは動作します。
Drumランプが点灯する前であっても､出力した印字品質が明らかに低下したときは、ドラムユニットを交換してください。

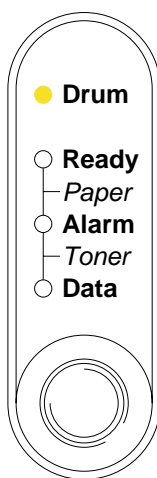



図 3-12　ドラムユニット交換の表示

注意

- ドラムユニットの内部にはトナーが残っていることがあります。プリンタから取り出すときには、取り扱いにご注意ください。
- ドラムユニットの交換の際にはプリンタのクリーニングをおすすめします。この章の「プリンタのクリーニング」をご覧ください。

ヒント

- ドラムユニットは消耗品ですので、定期的に交換が必要です。
- 理想的な使用方法、環境下での平均的なドラムユニットの寿命は、最大20,000ページです。実際のドラムユニットの寿命はこれよりも短いことがあります。ドラムユニットの寿命を左右する要因は様々であるため、ドラムユニットの最低限の印字枚数に関しては責任を負いかねます。
- 最高の印字品質を得るために、ドラムユニットはCASIO純正品のみを使用してください。
- 製品は換気が良く、ほこりの少ないきれいな環境で使用してください。

以下の手順にしたがってドラムユニットの交換をしてください。

☛ **1**.　プリンタのフロントカバーを開け、ドラムユニットを取り出します。

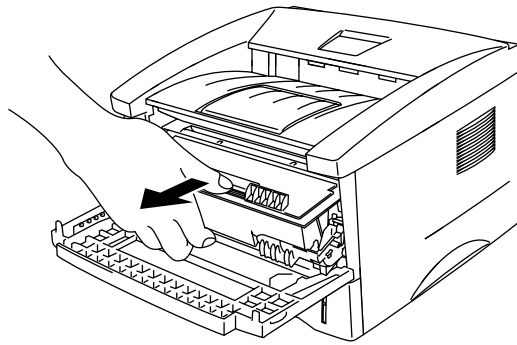



図 3-13　ドラムユニットを取り出す

注意

静電気によるプリンタへの悪影響を避けるため、下図に示した電極には触れないようにしてください。

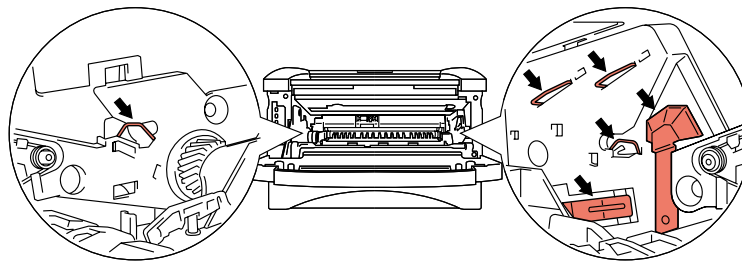



図 3-14　電極

☛ **2.** ドラムユニットを平らで水平な場所におきます。右手でロックレバーを下げた状態で、ドラムユニットからトナーカートリッジを取りはずします。

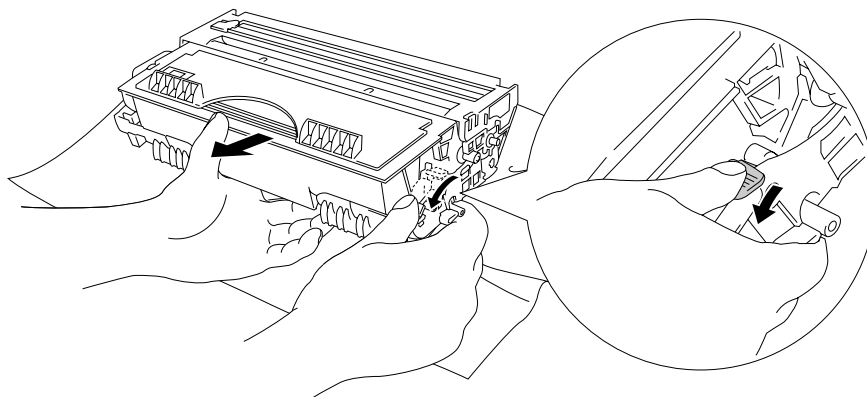



図 3-15　トナーカートリッジを取りはずす

ヒント

- CASIOは地球環境保護のため、使用済みのトナーカートリッジとドラムユニットを回収しリサイクルしています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」をご覧ください。
- トナーがこぼれたり、飛び散ったりすることがありますので、ドラムユニットは不要になった紙や布の上に置いてください。

☛ **3.** 新しいドラムユニットを袋から取り出します。

注意

- ドラムユニットは、プリンタへの装着直前に袋から取り出してください。袋から取り出して長時間直射日光や蛍光灯の下に放置すると、ドラムユニットが損傷することがあります。
- トナーカートリッジの中にはトナーが入っていますので、取り扱いにはご注意ください。万が一トナーが手や衣服についた場合は、すぐに拭くか水で洗い流してください。

☛ **4**. 新しいドラムユニットにトナーカートリッジを装着します。カチッという装着音がしてロックされたことを確認してください。トナーカートリッジが正しく装着されると、ロックレバーが自動的に上がります。

注意
トナーカートリッジが正しく装着されたことを確認してください。正しく装着されていない場合には、ドラムユニットを持ち上げた際にトナーカートリッジがドラムユニットからはずれることがあります。

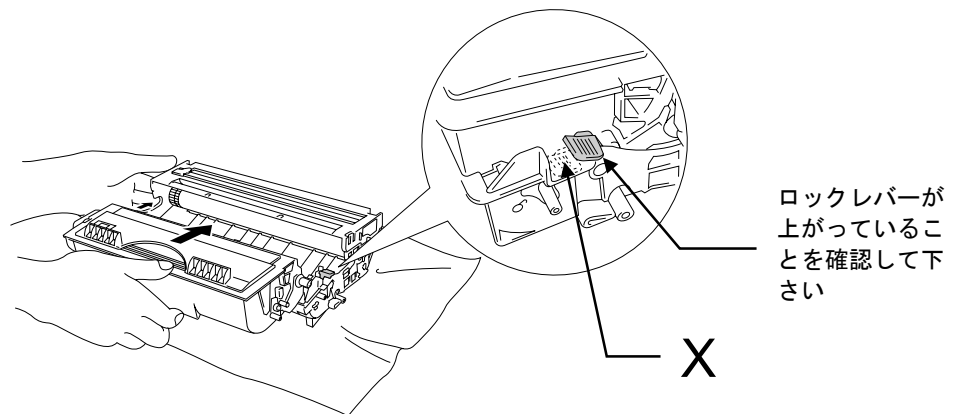



図 3-16　ドラムユニットにトナーカートリッジを装着する

☛ **5**. ドラムユニットをプリンタに装着します。

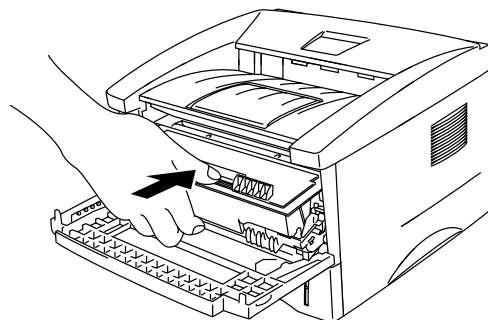
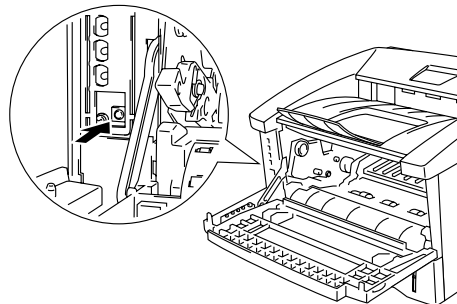



図 3-17　ドラムユニットを装着する

☛ **6**. フロントカバーが開き、プリンタの電源が入った状態で、**Drum**ランプと**Alarm**ランプが点灯していることを確認します。

☛ **7**. フロントカバーを閉じる前に、すべてのランプが点灯するまで図の矢印の位置にある本体のボタンを押し続けてドラムカウンタをリセットしてください。

注意

トナーカートリッジだけを交換する場合には、ドラムカウンターはリセットしないでください。

☛ **8**. フロントカバーを閉じます。

☛ **9**. **Drum**ランプが消えていることを確認します。

プリンタのクリーニング

プリンタの内外部は定期的にクリーニングしてください。特に、印刷ページにトナーがついてる場合は、プリンタ内部とドラムユニットのクリーニングが必要です。

プリンタ外部のクリーニング

プリンタ外部は以下の手順でクリーニングしてください。

☛ **1**. 電源を切ってコンセントから電源コードを抜きます。

警告

プリンタの内部の電極には非常に高い電圧がかかっています。プリンタのクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。

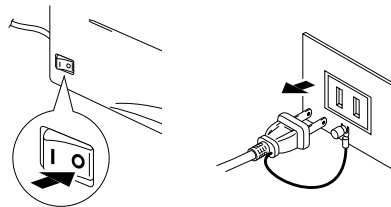



図 3-18　電源を切り電源コードを抜く

☛ **2**. クリーニングには湿らせた布を使います。

注意

クリーニングには水や中性洗剤を使用してください。シンナーやベンゼンのような揮発性溶液を使用すると、プリンタ表面に損傷を与えることがあります。

☛ **3**. **プリンタの外側についたほこりや汚れを湿らせた布で拭き取ります。再び電源をいれる前に、プリンタを完全に乾かします。**

☛ **4**. **コンセントに電源コードを差し込みます。**

プリンタ内部とドラムユニットのクリーニング

プリンタ内部とドラムユニットは以下の手順でクリーニングしてください。

☛ 1. 電源を切ってコンセントから電源コードを抜きます。

警告

プリンタの内部の電極には非常に高い電圧がかかっています。プリンタのクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。

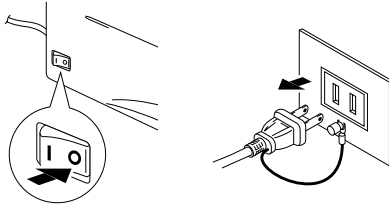



図 3-19　電源を切り電源コードを抜く

☛ 2. プリンタのフロントカバーを開けます。

☛ 3. ドラムユニットをプリンタから取り出します。

警告

プリンタの使用直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。やけどをする恐れがありますので、フロントカバーまたは背面カバーを開ける際には、プリンタの内部には手を触れないでください。下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

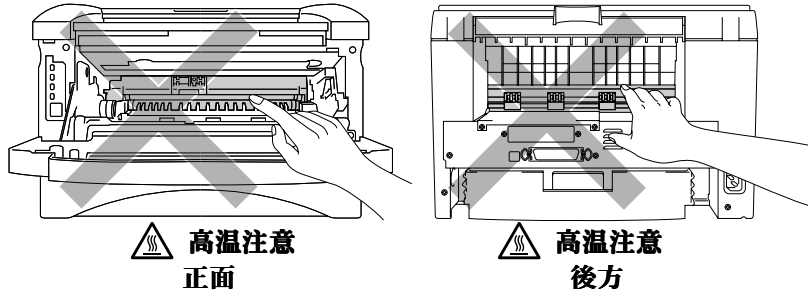



図 3-20 プリンタ内部

☛ **4.** スキャナウィンドウは柔らかい乾いた布でそっとふきます。

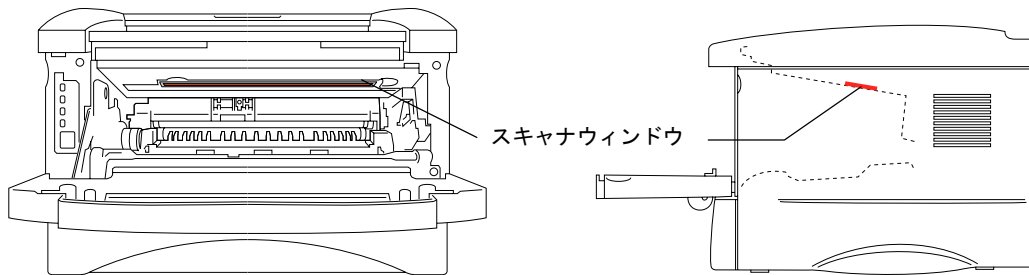



図 3-21 スキャナウィンドウの位置

注意

- スキャナウィンドウは直接手で触れないでください。
- スキャナウィドウはクリーニング用アルコールでふかないでください。
- ドラムユニットにはトナーが入っていますので、取り扱いには十分ご注意ください。万が一トナーが手や衣服についた場合は、すぐに拭くか水で洗い流してください。

ヒント

トナーがこぼれたり、飛び散ったりすることがありますので、ドラムユニットは不要になった紙か布の上に置いてください。

☛ **5**. 青色のタブを数回左右にゆっくりとスライドさせて、ドラムユニットの内側にあるコロナワイヤのクリーニングをします。

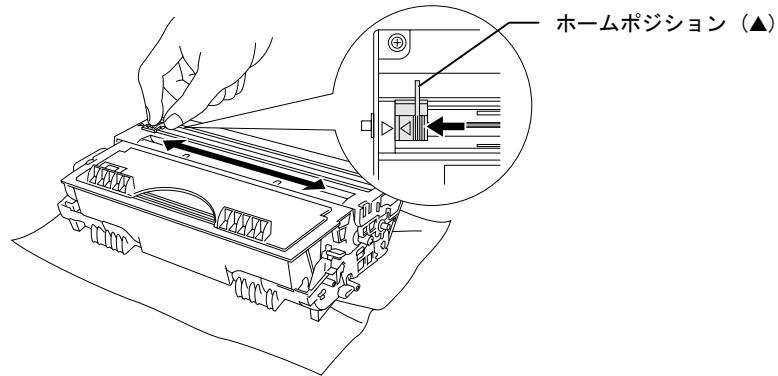



図 3-22　コロナワイヤのクリーニング

☛ **6**. ドラムユニットを再度装着する前に、タブをホームポジション（▲印の位置）に戻します。

注意

タブは必ずホームポジションに戻してください。ホームポジションに戻していないと、印刷ページにたて線が入ることがあります。

☛ **7**. ドラムユニットをプリンタに装着します。

☛ **8**. フロントカバーを閉じます。

☛ **9**. 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

第4章
トラブルシューティング

問題の解析

初めに下記の項目をご確認ください:

- 電源コードが正しく差し込まれているか、プリンタに電源が入っているか。
- 全ての保護部品が取り除かれているか。
- トナーカートリッジとドラムユニットが正しく装着されているか。
- フロントカバーがしっかり閉じられているか。
- 紙が用紙カセットに正しく挿入されているか。
- プリンタとコンピュータがインターフェースケーブルで正しく接続されているか。
- 正しいプリンタドライバーがインストールされ、選択されているか。
- コンピュータが正しいプリンタポートに接続されているか。

プリンタが印刷をしない:

上記のチェック項目で問題が解決されない場合は下記の項目の中から関連する事項を見つけて指示にしたがってください。

- ランプが点滅している　4－3ページの「コントロールパネルの表示」をご覧ください。
- ステータスモニターにエラーメッセージが現れる　4－7ページの「ステータスモニターのエラーメッセージ」をご覧ください。
- エラーメッセージが印刷される　4－9ページの「印刷によるエラーメッセージ」をご覧ください。
- 紙の取り扱い　4－10ページの 「用紙について」 または4-11ページの「紙づまりと解除の方法」をご覧ください。
- その他　4－16ページの「その他」をご覧ください。

ページを印刷するが、問題がある：

- 印字品質 — ４－１７ページの「印字品質の改善」をご覧ください。
- 印刷が正しくない — ４－２３ページ「正しく印刷するには」をご覧ください。

コントロールパネルの表示

オペレーターコールと処置の方法

ランプの表示はこの章では下記のように表現されています。

❍　ランプの消灯
☀　ランプの点滅
●　ランプの点灯

解除可能なエラーが発生した場合は、下記のようにランプ表示が‘オペレーターコール’を知らせます。

下記の表から関連する事項を見つけて適切な解除方法を取ってください。ほとんどのエラーはプリンタが自動的にエラーを解決しますが、コントロールパネルでリセット操作が必要な場合もあります。

例）トナー少量の表示

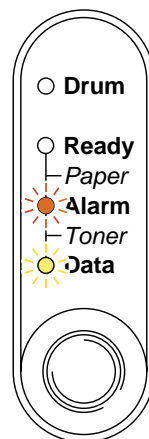



図４－１　トナー少量のランプ表示

ランプ	エラー	解決方法
	紙づまり	この章の「紙づまりと解除の方法」にしたがって紙づまりを処置してください。プリンタが自動的に回復しない場合はコントロールパネルのボタンを押してください。
	紙切れ	1章にしたがってプリンタに給紙し、コントロールパネルのボタンを押してください。
	給紙ミス	紙を入れ直してコントロールパネルのボタンを押してください。
（５秒間隔）	トナー少量	トナーカートリッジが少量である事を示しています。新しいトナーカートリッジを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。
	トナー切れ	3章にしたがってトナーカートリッジを新しいものに交換してください。

サービスコール

解除不可能なエラーが発生した場合には、全てのランプが点灯した後に下記のコンビネーションを繰り返してサービスコールが必要な事を表示します。

一例として、下の図は定着器の故障エラーを表示しています。

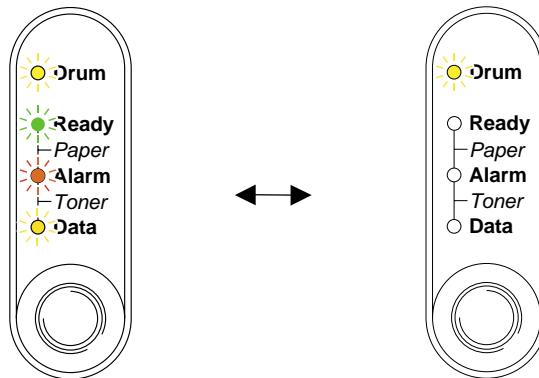



図４－２　定着器の故障によるランプの表示

サービスコール	定着器故障	レーザーＢＤ故障	スキャナ故障	ＲＯＭエラー
Drum	☼	❍	☼	❍
Ready	❍	☼	☼	❍
Alarm	❍	❍	❍	☼
Data	❍	❍	❍	❍

サービスコール	Ｄ－ＲＡＭエラー	サービス　Ａ	サービスＢ	エンジンインターフェースエラー
Drum	☼	❍	☼	❍
Ready	❍	☼	☼	❍
Alarm	☼	☼	☼	❍
Data	❍	❍	❍	☼

サービスコール	ＮＶ－ＲＡＭエラー	メインモーターエラー	ＣＰＵランタイムエラー
Drum	☼	❍	☼
Ready	❍	☼	☼
Alarm	☼	☼	☼
Data	☼	☼	☼

このようなサービスコールの表示が発生した場合は、電源スイッチを切って、数秒後にもう一度電源を入れて、印刷してみてください。

それでもエラーが解除できず、電源を入れた後も同じように表示される場合は、お買い求めの販売店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際には、前のページを参照してエラーの状況をお知らせください。

ステータスモニターのエラーメッセージ

ステータスモニターはプリンタの問題点を下記の表で示された様に表示します。ステータスモニターで表示されたエラーメッセージに対して正しい処置を行ってください。

エラー表示	解決方法
カバーオープン	プリンタのフロントカバーを閉じてください。
用紙切れまたは給紙ミス	• 用紙カセットが用紙切れか、十分な紙が挿入されていない場合があります。用紙切れの場合は用紙カセットに新しい紙を挿入してください。 • 用紙カセットに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙がそっている場合は、印字する前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出してから、揃えなおして用紙カセットに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 • 用紙カセットの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 • ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。1章の「使用できる用紙」をご覧ください。
紙づまり	この章の「紙づまりと解除の方法」をご覧ください。
トナー少量	新しいトナーカートリッジを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。
トナー切れ	3章の「トナーカートリッジの交換」をご覧ください。
プリントオーバーラン	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • それでもエラーが解除されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。

エラーメッセージ	解決方法
メモリフル	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • エラーが解除されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。
自動解像度調整	プリンタが自動的に解像度を下げないように、印刷前に作成したデータを簡素にしてください。
定着器エラー	• プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。 • １０分間電源を入れた状態で放置し、それでもエラーメッセージが出る場合はお買い求めの販売店またはサービスステーションにご相談ください。
レーザーダイオードエラー	プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。再びエラーメッセージが出る場合はお買い求めの販売店またはサービスステーションにご相談ください。
スキャナーエラー	プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。再びエラーメッセージが出る場合はお買い求めの販売店またはサービスステーションにご相談ください。
Ｄ－ＲＡＭエラー	プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。再びエラーメッセージが出る場合はお買い求めの販売店またはサービスステーションにご相談ください。
ＮＶ－ＲＡＭエラー	プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。再びエラーメッセージが出る場合はお買い求めの販売店またはサービスステーションにご相談ください。
メインモーターエラー	プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。再びエラーメッセージが出る場合はお買い求めの販売店またはサービスステーションにご相談ください。
エンジンインターフェースエラー	プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。再びエラーメッセージが出る場合はお買い求めの販売店またはサービスステーションにご相談ください。

印刷によるエラーメッセージ

プリンタに問題がおこった場合、表に示されたようなエラーメッセージを印刷して知らせます。プリンタが知らせるエラーメッセージに対して適切な処置をおこなってください。

エラーメッセージ	処置方法
MEMORY FULL	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • 文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。
PRINT OVERRUN	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 それでもエラーが解除されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。

用紙について

最初に、ご使用の用紙が用紙規格に合致しているか確認してください。用紙規格については、第１章の「使用できる用紙」をご参照ください。

問題	解決方法
プリンタが給紙をしない	• 用紙カセットに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙がそっているときは、印刷をする前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出してから、そろえ直して用紙カセットに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 • 用紙カセットの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 • 手差し給紙モードがプリンタドライバで選択されていないか確認してください。
プリンタが手差しスロットから紙を給紙しない	• 確実に一枚ずつ紙を挿入してください。 • プリンタドライバで手差しモードが選択されているか確認してください。
プリンタが封筒を給紙しない	手差しスロットからのみ封筒を給紙することができます。使用しているアプリケーションが印字する封筒の大きさに設定されていなくてはなりません。これは通常、使用しているアプリケーションのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションの取扱説明書を参照してください。
紙づまりが起きる	この章の「紙づまりと解除の方法」を参照して紙づまりを処理してください。
プリンタが排紙トレイに排紙をしない	背面カバーを閉じてください。

紙づまりと解除の方法

紙づまりがおこった場合、プリンタは下記のような点滅で表示します。

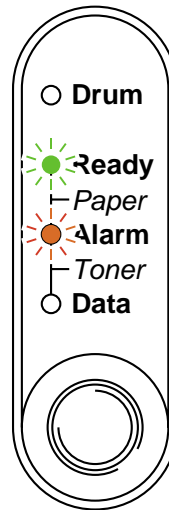



図４－３　紙づまりのときのランプの表示

警告

プリンタの使用直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。やけどをする恐れがありますので、フロントカバーまたは背面カバーを開ける際には、プリンタの内部には手を触れないでください。下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。

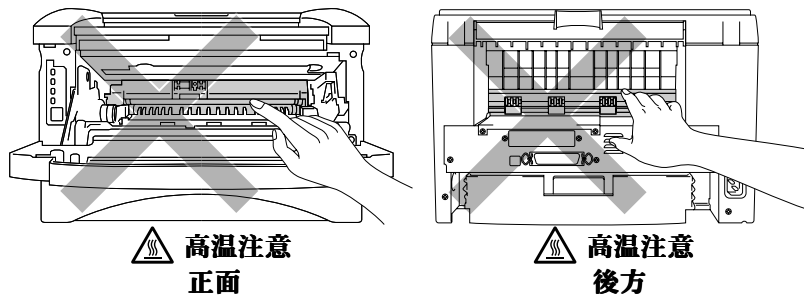



図　4-4　プリンタ内部

下記の記述にしたがって紙づまりを処理してください。

下記の手順にしたがってつまった紙を完全に取り除き、まず用紙カセットを挿入してフロントカバーを閉じると､プリンタは自動的に印刷を続行します。プリンタが自動的に印刷を続行しない場合は、コントロールパネルのボタンを押します。それでもプリンタが印刷を続行しない場合は、つまった紙がすべて取り除かれているか確認し、もう一度印刷してください。

注意

新しく用紙を継ぎ足す際には、いったん全ての用紙を用紙カセットから取り出し、継ぎ目ができないようにきれいにそろえてから用紙カセットに入れてください。これはプリンタが一度に複数枚の用紙を給紙する事を防ぎ、 紙づまりを減らします。

☛ **1.** プリンタから用紙カセットを完全に引き出します。

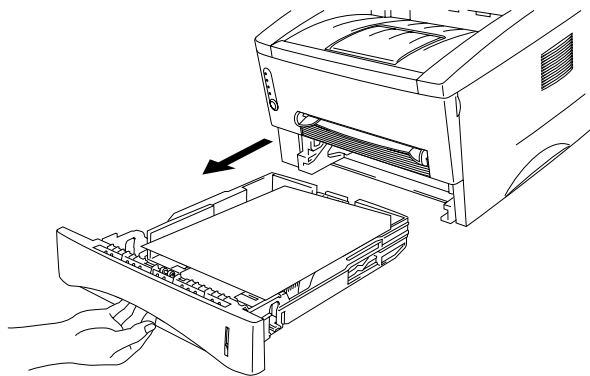



図４－５ 用紙カセットを引き出す

☛ **2**. つまった紙を取り出します。

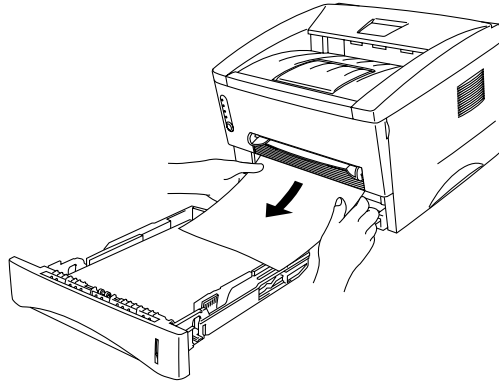



図４－６　つまった紙を取り出す

☛ **3**. フロントカバーを開けます。

☛ **4.** ドラムユニットを取り出し、つまった紙を取り出します。ドラムユニットが簡単に取り出せない場合は、無理に力を入れて取り出さず、つまった紙の端を用紙カセット側から引き出してください。

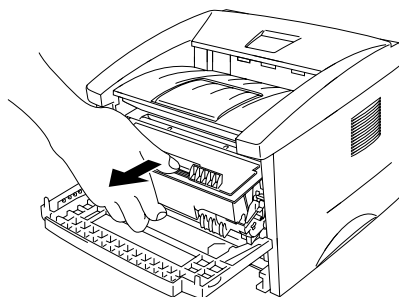



図４－７　ドラムユニットを取り出す

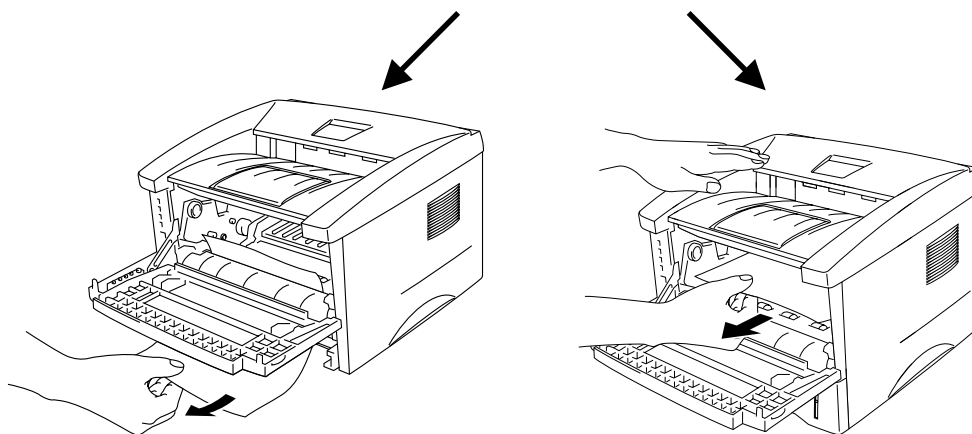



図４－８　つまった紙を引き出す

注意

静電気によるプリンタへの悪影響を避けるため、下図に示した電極には触れないようにしてください。

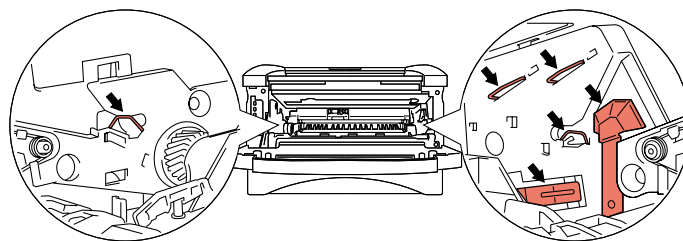



図４－９　電極

☛ **5**. **背面カバーを開けてつまった紙を定着器から引き出します。紙をプリンタの後方から引き出さなくてはならないときには、トナーが定着器に付着し、次ページ以降が汚れる事があります。トナーによる汚れがなくなるまで数枚テストページを印刷してください。**

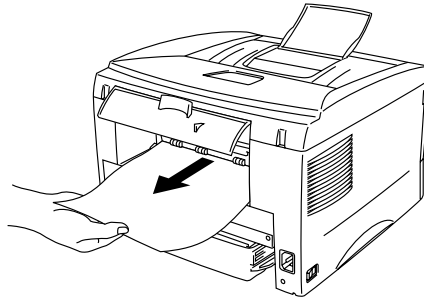
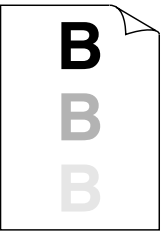
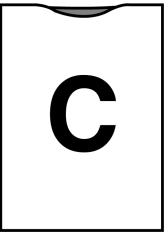
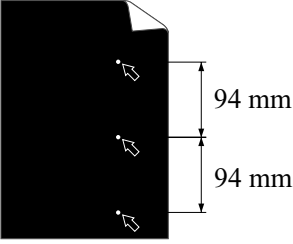
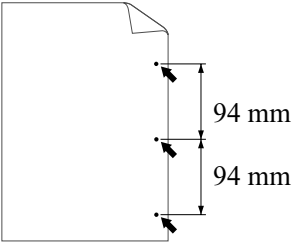
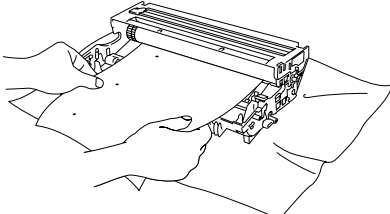
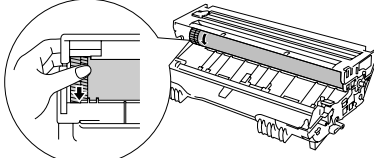
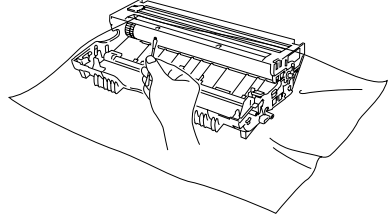



図４－１０　つまった紙を取り出す

☛ **6**. **背面カバーを閉じます。**

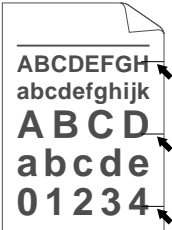
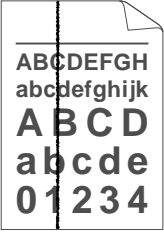
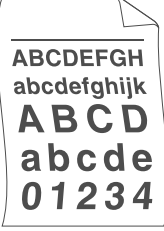
☛ **7**. **ドラムユニットを装着し、フロントカバーを閉じます。**

その他

問題	解決方法
プリンタで印字ができない。 “There was an error writing to LPT1: (or BRUSB) for the printer.” のエラーメッセージがコンピュータの画面上に表示される	• プリンタケーブルが破損していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、正しいプリンタが選択されているか確認してください。

印字品質の改善

注意

Drumランプが点灯している場合は、ドラムユニットを新品に交換すれば印字品質の問題は解決できます。ドラムランプの点灯は、ドラムユニットの寿命が終わりに近づいていることを示しています。

この節は下記の項目についての情報が掲載されています。

問題例	解決方法
かすれ ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	• プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。 • 全てのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。ドライバのグラフィックスタブでトナー節約モードを標準にしてください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。3章の「トナーカートリッジの交換」をご覧ください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。 3章の 「ドラムユニットの交換」をご覧ください。
グレーの背景 ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。 1章の 「使用できる用紙」をご覧ください。 • プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。 1 章の「使用環境」をご覧ください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。 3章の「ドラムユニットの交換」をご覧ください。
残像 B B B	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。表面が粗い紙や、湿気を吸収した紙、厚紙を使うとこの問題が起きる事があります。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。1章の「使用できる用紙」をご覧ください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。 3章の「ドラムユニットの交換」をご覧ください。

問題例	解決方法
トナー汚れ ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。表面が粗い紙を使うとこの問題が起きる事があります。　1章の 「使用できる用紙」をご覧ください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。 3章の 「ドラムユニットの交換」をご覧ください。
白い中抜け B	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。　1章の「使用できる用紙」をご覧ください。 • プリンタドライバの用紙媒体の設定で‘厚紙’を選択するか、または現在ご使用のものより薄い紙をお使いください。 • プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。 • 湿気を吸収した紙を使うとこの問題が起きることがあります。紙を交換して試してみてください。
真っ黒なページ	• ドラムユニットコロナワイヤーを清掃してください。「プリンタ内部とドラムユニットのクリーニング」をご覧ください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新品のドラムユニットに交換して試してみてください。3章の「ドラムユニットの交換」をご覧ください。
用紙の先端メクレ C	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。　1章の「使用できる用紙」をご覧ください。 • 薄い紙を使用すると発生しやすくなります。厚手の紙に交換して試してください。

問題例	解決方法
白い点 黒い文章や画像が印刷されたページに９４ミリ周期で白い点がある **黒い点** 印刷されたページに９４ミリ周期で黒い点がある	• 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合はラベルののりが感光ドラムに付着していることがあります。 下記の手順にしたがってドラムを清掃してください。 **注意** 清掃するときに感光ドラムに傷をつけないよう十分ご注意ください。感光ドラムを傷つけると、新しいドラムユニットに交換しなければならなくなる場合があります。 感光ドラムに直射日光や過度の照明が当たらないようにご注意ください。ドラム（画像）劣化の原因になります。 1. 印字サンプルをドラムユニットの前に置き、点が出る位置を確認します。 **図4-11　点が出る位置を確認する** 2. ドラムギアを手で回し、感光ドラム表面にのりがついている場所を手前にもってきます。 **図 4-12　ドラムギアを回す** 3. 感光ドラム上の汚れの場所と、プリントサンプルの点の位置が一致していることが確認できたら、感光ドラムの表面を汚れや紙粉がなくなるまで綿棒で拭き取ります。 **図 4-13　感光ドラムの表面を拭き取る** **注意** 感光ドラムを強くこすらないでください。感光ドラムが傷ついて、かえって白点・黒点が広がってしまうことがあります。 ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。 ３章の 「ドラムユニットの交換」をご覧ください。

注意

感光ドラムの表面を清掃する際は、ボールペンのような先の尖ったものは使用しないでください。感光ドラムを傷つける原因になります。

問題例	解決方法
黒い汚れが平行に繰り返し発生する ABCDEFGH abcdefghijk ABCD abcde 01234 トナーの飛び散りや汚れが印刷されたページ上に出る	• ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。3章の「ドラムユニットの交換」をご覧ください。 ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。 1章の「使用できる用紙」をご覧ください。 **ヒント** ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりがプリンタや感光ドラムに付着している事があります。前のページの手順にしたがって感光ドラムを清掃してください。 • ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは直射日光や過度の照明で品質が損なわれる事があります。

問題例	解決策
白い平行な線	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。 • この問題はプリンタが自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページ印字してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。3章の「ドラムユニットの交換」をご覧ください。
平行な線	• プリンタ内部の清掃とドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。3章の「プリンタ内部とドラムユニットのクリーニング」をご覧ください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。3章の「ドラムユニットの交換」をご覧ください。
黒い垂直な線 印刷されたページにトナーの汚れや垂直な線がある	• ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。「プリンタ内部とドラムユニットのクリーニング」をご覧ください。 • コロナワイヤの清掃用タブ（青色）がホームポジションにあるか確認してください。 • ドラムが破損していることがあります。ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。3章の「ドラムユニットの交換」をご覧ください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。 3章の「トナーカートリッジの交換」をご覧ください。 • スキャナウィンドウを覆うように紙片がプリンタ内部に残っていないか確認してください。 • 定着器が汚れていることがあります。弊社カスタマーサポートに連絡してください。

問題例	解決方法
白い垂直な線	• スキャナウィンドウを柔らかい布でふいてください。3章の「プリンタ内部とドラムユニットのクリーニング」をご覧ください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。 3章の「トナーカートリッジの交換」をご覧ください。
ページのゆがみ	• 紙が用紙カセットに正しく挿入されているか確認してください。また、用紙ガイドが紙の大きさに合っているか確認してください。 • 用紙ガイドを正確にセットしてください。ペーパーガイドの爪が溝にしっかりはまっているか確認してください。1章の「用紙カセットへの給紙方法」をご覧ください。 • 手差しスロットをご使用の場合は1章の「手差し給紙の方法」をご覧ください。 • 用紙カセット内の紙の枚数が多すぎる場合があります。1章の「用紙カセットへの給紙方法」をご覧ください。 • 紙の種類と品質を確認してください。1章の「使用できる用紙」をご覧ください。
そりまたはうねり	• 紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙のそりが起きることがあります。 1章の「使用できる用紙」をご覧ください。 • プリンタを頻繁に使用しない場合には、用紙が用紙カセットの中で過度に吸湿していることがあります。 トレイの中の紙をひっくり返すか、向きを180度回転させてみてください。 • 手差し給紙で印字してみてください。 1章の「手差し給紙の方法」をご覧ください。 • ストレートペーパーパスで印刷してみてください。1章の「厚紙やカードの印刷」をご覧ください。
しわまたは折り目	• 紙が正しく給紙されているか確認してください。 1章の「用紙カセットへの給紙方法」をご覧ください。 • 紙の種類と品質を確認してください。1章の「使用できる用紙」をご覧ください。 • 手差し給紙で印字してみてください。1章の「手差し給紙の方法」をご覧ください。 • トレイの中の紙をひっくり返すか、向きを180度回転させてみてください。

正しく印字するには

問題	解決方法
印字はするが、コンピュータ画面上で表示されているものとは違っている	• プリンタケーブルが長すぎないか確認してください。長さが2メートル以内のものをおすすめします。 • プリンタケーブルが破損または故障していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、取り外して直接プリンタと接続して試してみてください。 • 正しいプリンタドライバが‘通常使うプリンタに設定’として設定されているか確認してください。 • 補助記憶装置またはスキャナーが同じポートに接続されていないか確認してください。 • その他の装置すべてを取り除き、プリンタのみをポートにつないでください。 • プリンタドライバ内のデバイスオプションで表示されたプリンタステイタスをOFFにしてください。
全ての文章を印刷することができない。“PRINT OVERRUN” のエラーメッセージが表示される	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • それでも問題が解決されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。 • 付属のWindowsドライバでページ保護機能をONに設定してください。
全ての文章を印刷することができない。"MEMORY FULL" のエラーメッセージが表示される	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • それでも問題が解決されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。
コンピュータ画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない	ヘッダーやフッターが印刷可能な範囲外に印刷されている場合があります。印字可能範囲内に、ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

付録　A

プリンタ仕様

印刷

印刷方法	半導体レーザービーム走査による乾式電子写真方式	
レーザー	波長： 出力：	780 nm 5 mW（最大）
解像度		600x 600ドット/インチ 300x 300ドット/インチ
印字品質	ノーマルモード	エコノミーモード (25%又は50%のトナーセーブ)
印字速度	最高毎分12枚　(ppm)	（A4またはレターサイズの用紙を用紙カセットから印刷した場合） **注：**最高印字速度は同一ページを印刷することによって算出された数値です。インターフェイスのタイプ、コンピュータのデータ処理能力、印刷処理に割りあてられたメモリ量、用紙サイズ、グラフィックの品質等によって、実際の印字速度は異なります。 また用紙サイズによっては、プリンタ本体の保護のため印字速度を制限する場合があります。

ウォームアップタイム	室温23°C (73.4°F)で 約45秒	(ウォームアップタイムは周囲の温度と湿度によって異なります。)
ファーストプリントタイム	17秒（23°C）	(A4またはレターサイズの用紙を用紙カセット から印刷した場合)
印刷媒体 寿命	トナーカートリッジ： 約6,000ページ	(A4またはレターサイズの用紙を印刷密度5%で印刷した場合) **注**:トナーカートリッジの寿命は温度、湿度、使用されている用紙、1回の印刷で印字される枚数､印刷内容などによって異なります。(プリンタ購入時に同梱のトナーカートリッジの寿命は約3,000枚です。)
寿命	ドラムユニット： 約20,000ページ	**注**: ドラムユニット の寿命は温度、湿度、使用されている用紙、1回の印刷で印字される枚数、印刷内容などによって異なります。

機能

プリンタドライバ	Windows® 95/98/Me及びWindows NT® 4.0/Windows ® 2000対応ドライバ •CASIO独自のデータ圧縮機能による高速プリンタドライバ •双方向通信によるステータスモニタ (Windows® 95/98/Meのみ)
インターフェイス	双方向パラレルインターフェイス(IEEE1284準拠) USBインターフェイス
メモリ	8 MB
診断機能	自己診断プログラム内蔵

電気的及び物理的仕様

電源	AC 100V, 50 / 60 Hz	
消費電力	印刷時 （平均）: スタンバイ スリープ:	340 W以下 80 W 以下 6 W以下
騒音	印刷時 スリープ:	52 dB A 以下 30 dB A 以下
温度	操作時 保管時	10～32.5°C 0～40°C
湿度	操作時 保管時	20から 80% （結露なきこと） 20から 80% （結露なきこと）
寸法 （幅×高さ×奥行き）		360 x 370 x 235 mm
重量		約7.9 kg（ドラムユニット、トナーカートリッジを除く）

パラレルインターフェイス仕様

ヒント
最高の印字品質を得るために、プリンタとコンピュータの接続にはIEEE-1284準拠のパラレルケーブルを使用してください。IEEE-1284ケーブルのみが、双方向通信など高度な印字性能をサポートします。ケーブルには「IEEE-1284」と明記されています。
各社のパソコンの純正ケーブルをご使用になる場合は、VCCI適合のために、必ずケーブルとコネクタがシールドされたものをご使用ください。シールドされていないものを使用すると、電波障害の原因となることがあります。

インターフェイスコネクタ　プリンタ側:　Amphenol 57RE - 40360 - 730B(D12)
または同等のもの

ピン配列

ピン番号	信号名	方向	ピン番号	信号名	方向
1	$\overline{\text{DATA STROBE}}$	入力	19	0V (S.G.)	–
2	DATA 1	入力	20	0V (S.G.)	–
3	DATA 2	入力	21	0V (S.G.)	–
4	DATA 3	入力	22	0V (S.G.)	–
5	DATA 4	入力	23	0V (S.G.)	–
6	DATA 5	入力	24	0V (S.G.)	–
7	DATA 6	入力	25	0V (S.G.)	–
8	DATA 7	入力	26	0V (S.G.)	–
9	DATA 8	入力	27	0V (S.G.)	–
10	$\overline{\text{ACKNLG}}$	出力	28	0V (S.G.)	–
11	BUSY	出力	29	0V (S.G.)	–
12	PE	出力	30	0V (S.G.)	–
13	SLCT	出力	31	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	入力
14	$\overline{\text{AUTO FEED}}$	入力	32	$\overline{\text{FAULT}}$	出力
15	N.C.	–	33	N.C.	–
16	0V (S.G.)	–	34	N.C.	–
17	0V (S.G.)	–	35	N.C.	–
18	+5V	–	36	$\overline{\text{SLCT IN}}$	入力

ヒント
双方向通信を使用するためには、前ページようなピンの接続があるインターフェイスケーブルを必ず使用してください。

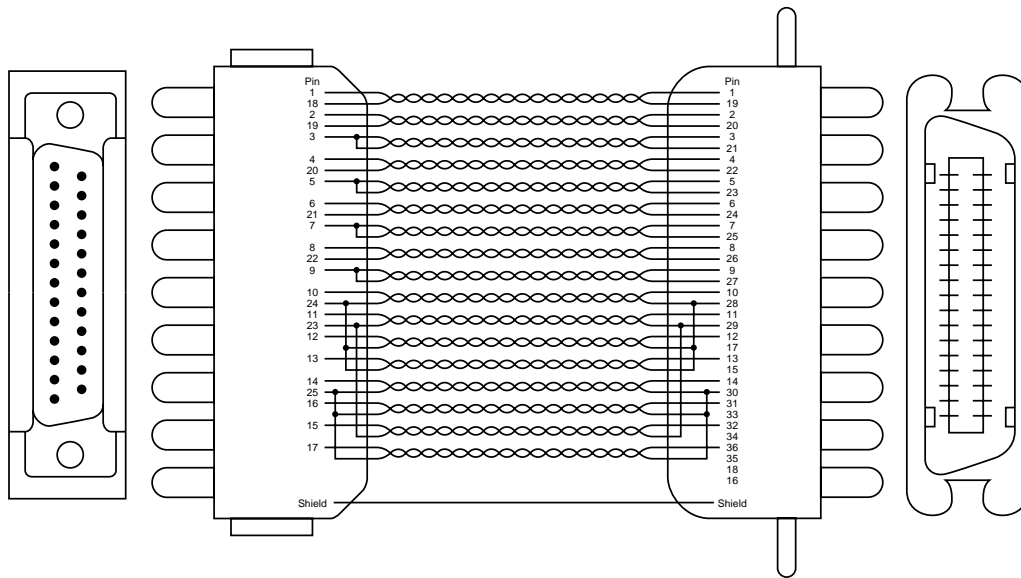



図 A-1 **パラレルインターフェイスケーブル**

USB (Universal Serial Bus)インターフェイス

インターフェイスコネクタ

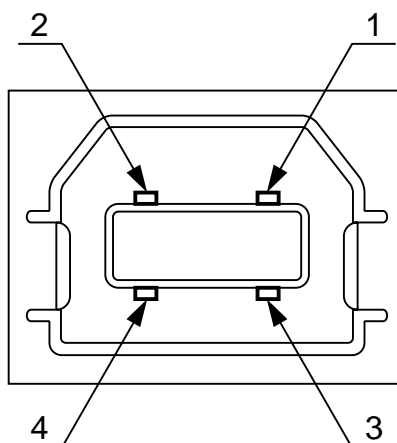



図 A-2 USBインターフェイスコネクタ

ピン配列

ピン番号	信号名	
1	Vcc (+5V)	
2	- Data	Serial Data -
3	+ Data	Serial Data +
4	Ground	

ヒント
USBケーブルは、 Serial Data + と Serial Data − がツイストペアになっていて、シールドされた高速モード用ケーブル（プリンタに同梱のUSBケーブル）を使用してください。

商標

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft社の登録商標です。

本取扱説明書に記載する会社名、商品名およびソフトウェア名は一般に各社の商標または登録商標です。

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容については予告なく変更されることがあります。

保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

■お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。
①プリンタに同梱してあります「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、必ず設置時に投函をお願いいたします。
②カードが弊社に着信しだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を送付いたします。
保証書はプリンタご購入以後6ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管させていただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証及び保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

■保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術（メカトロニクス）及び万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より6ヶ月間無償修理いたします。
次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

（1）誤用・乱用による故障や取扱い不注意による故障及び損傷。
（2）火災・天災などの災害による故障及び損傷。
（3）外装を開けた場合、不適当な修理や改造及びトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。
（4）接続している他の機器に起因する故障及び損傷。
（5）ご使用中に、外装・操作パネル等に生じたキズなどの外観上の変化。
（6）移動及び運搬によって生じた故障および損傷。
（7）「保証書」の提示がない場合、及び本証に必要事項（お買い上げ日など）の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
（8）用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、及び定期交換部品。

・無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
・修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。
「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証契約制度がありますので、カシオサービスステーションにお申し込みください。ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口として最寄りのカシオサービスステーションをご利用ください。
（A-11ページ「カシオテクノ・サービスステーション一覧」をご覧ください。）

お問い合わせの際は

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った・・・というときは、お客様担当の営業マンが対応いたします。

●お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください。

・ご氏名
・ご連絡先の電話番号
・プリンタの機種名
・プリンタのシリアル No.
・接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称及びバージョン
・機器構成（プリンタ切り替え機など）
・現在どういう状態か
・どのような操作を行ったか
・プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合
・印字サンプル
・プリンタ設定印刷シート
・HEX ダンプ

インターネット・インフォメーション
各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。
http://www.casio.co.jp/ppr/

お問い合わせ窓口

製品の取扱方法・ソフト上のお問い合わせ

ご購入された販売店または担当営業にご連絡ください。

製品の機能設定方法及びソフト的障害に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター　TEL03-5334-4557
受付時間はAM10:00～11:55、PM1:00～5:00。土、日、祝日（社内規定休日）は休み。

製品のハード的障害に関するお問い合わせ

カシオテクノサービスステーション
受付時間はAM9:00～PM5:35。日、祝日は休み。

拠点名	電話番号	郵便番号	所在地	管轄区域
札　幌	011-281-1251	060-0063	札幌市中央区南3条西 10-1001-5　福山南3条ビル	北海道
盛　岡	019-646-3395	020-0125	盛岡市上堂2-3-6	青森県　岩手県　秋田県
仙　台	022-256-8822	983-0852	仙台市宮城野区榴岡5-1-35	宮城県　福島県　山形県
高　崎	0273-23-5000	370-0054	高崎市新町67-1	群馬県
水　戸	029-225-6472	310-0803	水戸市城南3-10-17	茨城県
宇都宮	028-623-5503	320-0053	宇都宮市戸祭町3009-8	栃木県
新　潟	025-287-1152	950-0925	新潟市弁天橋通り3-9-12	新潟県
長　野	026-222-6895	380-0911	長野市大字稲葉字日詰1592-1	長野県
埼　玉	048-642-7234	330-0843	さいたま市吉敷町1-89タカラビル1F	埼玉県
東　京	03-5294-7022	101-0021	千代田区外神田2-2-18	東京都23区
東京第3	042-500-0321	196-0002	昭島市拝島町3-13-14	東京都23区外　山梨県
横　浜	045-441-2177	221-0052	横浜市神奈川区栄町3-12 ヨコハマツインビル2F	神奈川県
千　葉	043-243-1618	260-0022	千葉市中央区神明町13-4	千葉県
名古屋	052-324-2165	460-0024	名古屋市中区正木3-9-27 NFC金山ビル2F	愛知県　三重県 高山を除く岐阜県
金　沢	076-224-0061	920-0064	金沢市南新保町ト52	石川県　福井県　富山県 岐阜県高山
静　岡	054-281-8085	422-8056	静岡市津島町16-23	静岡県
大　阪	06-6243-6213	541-0056	大阪市中央区久太郎町3-6-8 御堂筋ダイワビル7F	大阪府　奈良県 和歌山県
神　戸	078-392-3500	650-0032	神戸市中央区伊藤町119	兵庫県
京　都	075-351-1161	600-8107	京都市下京区五条通知新町 東入東錺屋町 186ヤサカ五条ビル2F	京都府　滋賀県
広　島	082-230-5900	733-0001	広島市西区大芝2-14-10	広島県　島根県　山口県 鳥取県米子
岡　山	086-244-3404	700-0926	岡山市西古松西町9-1	岡山県 米子を除く鳥取県
高　松	087-837-7641	760-0078	高松市今里町2-21	香川県　徳島県 高知県　愛媛県
福　岡	092-413-6008	812-0007	福岡市博多区東比恵2-16-23	福岡県　佐賀県　長崎県 大分県　沖縄県
熊　本	096-367-0614	862-0911	熊本市健軍1-38-7	熊本県
鹿児島	099-256-3573	890-0065	鹿児島市郡元1-1-3	鹿児島県　宮崎県

使用済み消耗品の回収について

カシオ計算機は、お客様でご使用済みとなりましたドラム・トナーセットを、地球環境保全と資源の有効活用の為に無料にて回収をしております。
弊社の環境保全活動にご協力賜りたく、ご案内申し上げます。

＜回収のお申し込み方法＞

ご使用済みのカシオ製ドラム・トナーセット回収のご用命は、ドラム・トナーセットに同梱の「ドラム・トナーセット回収申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリでお送りいただくか、弊社ホームページにてお申し込みください。
後日、宅配業者が回収にお伺いいたします。(費用は弊社にて負担させていただきます)

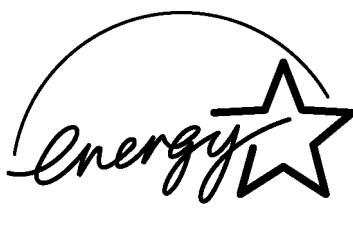
回収申込ファクシミリ番号、回収申込ホームページなど、詳細は消耗品（オプション）に同梱の案内書をご覧ください。

＜お願い＞

お手数ですが、ご使用済みのドラム・トナーセットは、新しいドラム・トナーセットが入っていた梱包箱・ポリ袋・緩衝材を再使用し、元通りに梱包して宅配業者にお渡しください。１個でも回収にお伺いしますが、環境への負荷を極力低減するために、３～５個をまとめて、ガムテープなどでしばってください。

規格

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発・普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法(1968年制定)に従った米国厚生省(DHHS)施行基準で、クラスI レーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

⚠警告

(本書で指示されている以外の)機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

電源高調波

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電･汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

瞬時電圧低下耐力について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し、不都合が生じることがあります。

索引

あ

い

う

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

た

て

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画部

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2
電話 03-5334-4552
ページプリンタ営業部
電話 03-5334-4550
西日本営業部
電話 06-6243-2100
中部営業部
電話 052-934-1371
カシオ情報機器　北海道支社
電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北支社
電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国支社
電話 082-239-1500
カシオ情報機器　九州支社
電話 092-475-3939
テクニカルインフォメーションセンター
電話 03-5334-4557
インターネットホームページ
http://www.casio.co.jp/ppr/

CP-B100

取扱説明書

2002年1月31日　第2版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置及び関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。